

第 9 期

八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の
令和 6 年度事業報告について

目 次

評価シート

基本目標 1 いきいきと活力ある高齢期を過ごすための取組

- 1 高齢者の健康づくりと地域福祉活動等への参加促進・・・ 6
- 2 介護予防の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 8
- 3 高齢者の住まいの支援・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 0

基本目標 2 住み慣れた地域で安心して暮らせるための取組

- 1 高齢者を支えるつながりづくりの推進・・・・・・・・ 3 6
- 2 地域で見守る高齢者支援体制の推進・・・・・・・・ 4 4
- 3 社会福祉協議会との連携・・・・・・・・・・・・ 5 4

基本目標 3 認知症にやさしいまちづくりのための取組

- 1 認知症等に関する啓発の推進・・・・・・・・・・・・ 6 2
- 2 認知症の早期発見・早期対応と介護者支援の充実・・・ 6 4
- 3 認知症バリアフリーの推進・・・・・・・・・・・・ 7 1

基本目標 4 介護保険サービスの充実に向けた取組

- 1 介護サービスの提供と基盤整備の推進・・・・・・・・ 7 2
- 2 介護保険事業の円滑な実施のための取組の推進・・・ 7 6

基本目標 5 住み慣れたところで最期まで暮らし続けられるための取組

- 1 在宅医療・介護の連携・・・・・・・・・・・・ 8 5

第 9 期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

評価シート結果

	順調	概ね順調	遅れ
評価	5 3	1 4	5

	現状のまま 継続	休止・廃止	終了・完了	見直して 継続	他事業と統 合して継続
今後の方向性	6 6	0	0	6	0

第 9 期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画における「新規」「拡充」
「数値目標」

新規	2
拡充	5
数値目標	8

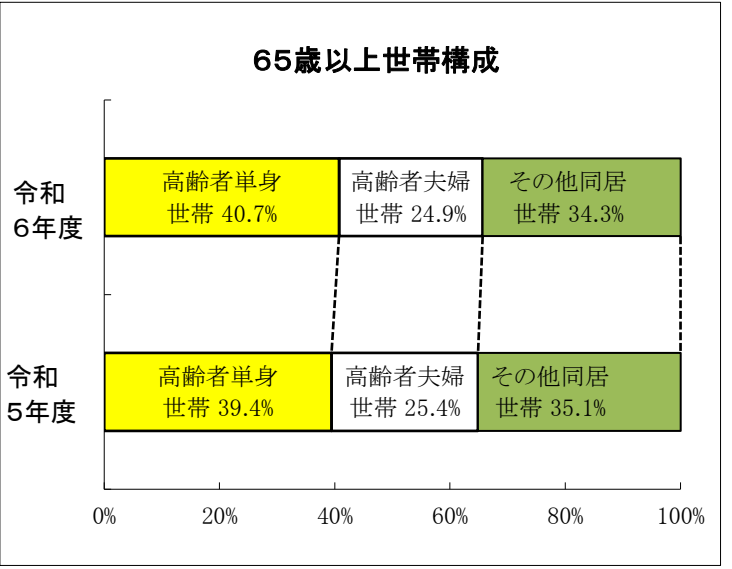
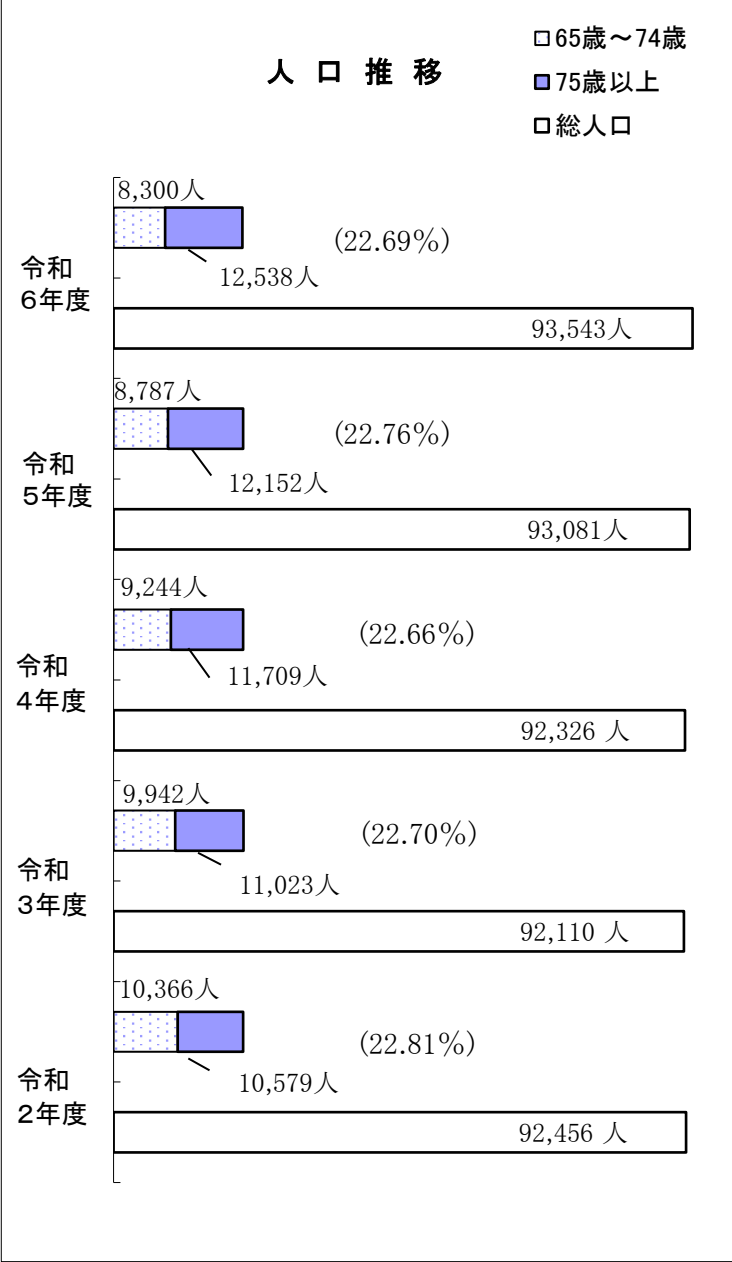
新規・拡充・数値目標

- 1 高齢者の憩いの場づくり 数値目標 8 ページ
- 2 思いやり駐車場制度
(パーキング・パーミット制度) の周知 新規 13 ページ
- 3 一般介護予防事業
(介護予防普及啓発事業) 拡充 数値目標 21 ページ
- 4 一般介護予防事業
(地域介護予防活動支援事業) 拡充 23 ページ
- 5 一般介護予防事業
(介護支援ボランティア制度の実施) 数値目標 25 ページ
- 6 地域ケア会議 数値目標 40 ページ
- 7 生活支援体制の充実 拡充 42 ページ
- 8 認知症サポーターの養成と活動支援 数値目標 63 ページ
- 9 認知症の人を介護する家族の支援
(徘徊高齢者の家族支援) 数値目標 68 ページ
- 10 認知症の人を介護する家族の支援
(徘徊高齢者早期発見ネットワーク) 数値目標 69 ページ
- 11 地域密着型通所介護 拡充 72 ページ
- 12 小規模多機能型居宅介護、
介護予防小規模多機能型居宅介護 拡充 73 ページ
- 13 介護認定審査会の効率化 新規 82 ページ
- 14 看取りに向けた支援 数値目標 88 ページ

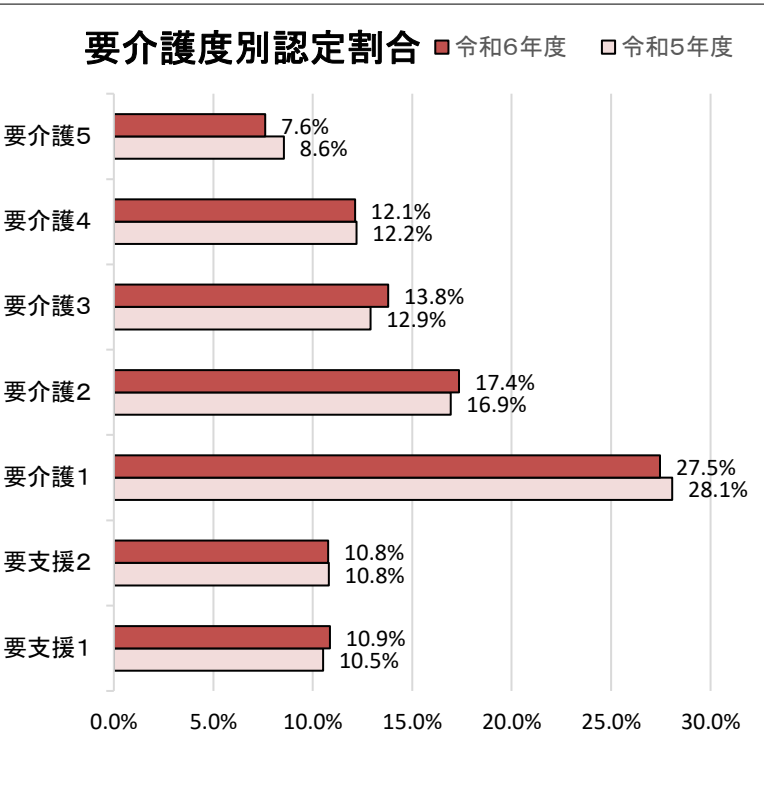
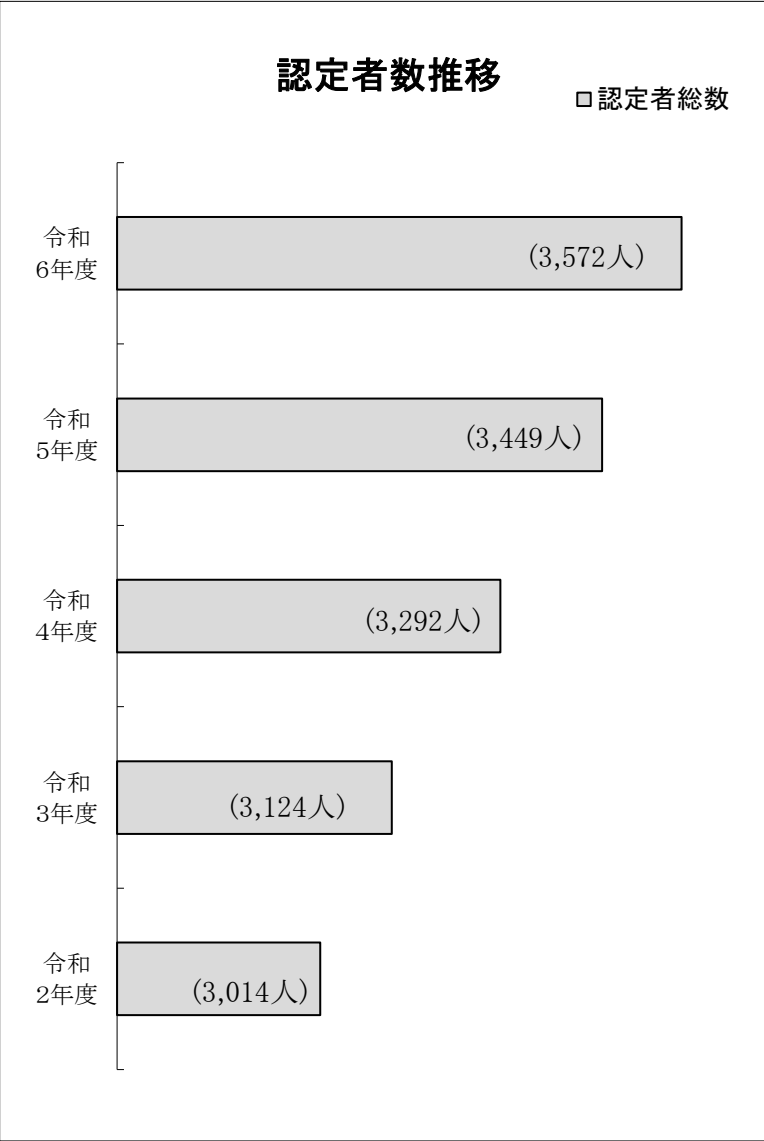
人口及び要介護認定者数の推移

総人口	人数	令和6年度	93,543人
		令和5年度	93,081人
	前年同月増減率(%)	0.5%	
高齢者人口	人数	令和6年度	20,838人
		令和5年度	20,939人
	前年同月増減率(%)	-0.5%	
うち前期高齢者数	人数	令和6年度	8,300人
		令和5年度	8,787人
	前年同月増減率(%)	-5.5%	
うち後期高齢者数	人数	令和6年度	12,538人
		令和5年度	12,152人
	前年同月増減率(%)	3.2%	
高齢化率(%)		令和6年度	22.28
		令和5年度	22.50
うち前期高齢者(%)		令和6年度	8.87
		令和5年度	9.44
うち後期高齢者(%)		令和6年度	13.40
		令和5年度	13.06
総世帯数	令和6年度		47,099世帯
	令和5年度		46,217世帯
	前年同月増減率(%)		1.9%
高齢者世帯		令和6年度	15,074世帯
		令和5年度	14,999世帯
うち高齢者単身世帯	世帯数	令和6年度	6,140世帯
		令和5年度	5,913世帯
	構成比	令和6年度	40.7%
		令和5年度	39.4%
うち高齢者夫婦世帯	世帯数	令和6年度	3,758世帯
		令和5年度	3,817世帯
	構成比	令和6年度	24.9%
		令和5年度	25.4%
うちその他同居世帯	世帯数	令和6年度	5,176世帯
		令和5年度	5,269世帯
	構成比	令和6年度	34.3%
		令和5年度	35.1%

※人口数値は各年度3月1日現在



第1号被保険者		人数	令和6年度	20,838人
			令和5年度	20,939人
		前年同月増減率(%)		-0.5
うち前期高齢者数	人数	令和6年度	8,300人	
		令和5年度	8,787人	
	前年同月増減率(%)		-5.5	
うち後期高齢者数	人数	令和6年度	12,538人	
		令和5年度	12,152人	
	前年同月増減率(%)		3.2	
第2号被保険者		人数	令和6年度	33,259人
			令和5年度	32,878人
		前年同月増減率(%)		1.2
認定者総数		人数	令和6年度	3,572人
			令和5年度	3,449人
		前年同月増減率(%)		3.6
認定率（第1号被保険者）		令和6年度	16.6%	
		令和5年度	16.0%	
前期高齢者認定者		人数	令和6年度	338人
			令和5年度	370人
		前年同月増減率(%)		-8.6
認定率		令和6年度	4.1%	
		令和5年度	4.2%	
後期高齢者認定者		人数	令和6年度	3,122人
			令和5年度	2,975人
		前年同月増減率(%)		4.9
認定率		令和6年度	24.9%	
		令和5年度	24.5%	
第2号被保険者認定者		人数	令和6年度	112人
			令和5年度	104人
		前年同月増減率(%)		7.7
認定率		令和6年度	0.3%	
		令和5年度	0.3%	
要介護度別人数	要支援1	人数	令和6年度	388人
			令和5年度	363人
		前年同月増減率(%)		6.9
	要支援2	人数	令和6年度	385人
			令和5年度	373人
		前年同月増減率(%)		3.2
	要介護1	人数	令和6年度	981人
			令和5年度	968人
		前年同月増減率(%)		1.3
	要介護2	人数	令和6年度	620人
			令和5年度	584人
		前年同月増減率(%)		6.2
	要介護3	人数	令和6年度	493人
			令和5年度	445人
		前年同月増減率(%)		10.8
	要介護4	人数	令和6年度	433人
			令和5年度	421人
		前年同月増減率(%)		2.9
	要介護5	人数	令和6年度	272人
			令和5年度	295人
		前年同月増減率(%)		-7.8



※要介護認定者人数：介護保険事業状況報告書(2月分報告書)より

※第1号被保険者人数、第2号被保険者人数：各年度3月1日現在人口ピラミッド

介護サービス量の実績

単位：回、人、%

区分		令和５年度			令和６年度		
		計画値	実績値	対計画比	計画値	実績値	対計画比
(1) 居宅サービス	人数	67,344	71,948	106.8	65,439	76,093	116.3
① 訪問介護	回数	112,171	75,153	67.0	139,030	78,427	56.4
	人数	6,120	5,454	89.1	5,472	5,610	102.5
② 訪問入浴介護	回数	2,796	2,878	102.9	2,700	3,063	113.4
	人数	624	651	104.3	624	665	106.6
③ 訪問看護	回数	18,996	12,866	67.7	18,791	15,326	81.6
	人数	2,388	2,287	95.8	2,196	2,716	123.7
④ 訪問リハビリテーション	回数	20,293	11,750	57.9	24,553	12,109	49.3
	人数	1,512	1,939	128.2	2,004	2,014	100.5
⑤ 居宅療養管理指導	人数	7,248	14,920	205.8	8,052	16,852	209.3
⑥ 通所介護	回数	113,140	95,799	84.7	96,929	95,010	98.0
	人数	9,516	8,954	94.1	8,748	8,773	100.3
⑦ 通所リハビリテーション	回数	28,396	21,889	77.1	25,511	21,466	84.1
	人数	3,540	2,683	75.8	3,156	2,749	87.1
⑧ 短期入所生活介護	日数	23,233	20,530	88.4	19,596	22,145	113.0
	人数	1,788	1,556	87.0	1,512	1,675	110.8
⑨ 短期入所療養介護	日数	958	614	64.1	667	601	90.1
	人数	216	118	54.6	147	116	78.9
⑩ 特定施設入居者生活介護	人数	2,556	2,368	92.6	2,544	2,623	103.1
⑪ 福祉用具貸与	人数	12,288	12,401	100.9	12,300	13,008	105.8
⑫ 特定福祉用具販売	人数	264	222	84.1	300	263	87.7
⑬ 住宅改修費	人数	228	175	76.8	168	191	113.7
⑭ 居宅介護支援	人数	19,056	18,220	95.6	18,216	18,838	103.4
(2) 介護保険施設サービス	人数	6,060	5,416	89.4	6,540	5,847	89.4
① 介護老人福祉施設	人数	4,224	3,618	85.7	4,632	3,835	82.8
② 介護老人保健施設	人数	1,776	1,720	96.8	1,812	1,929	106.5
③ 介護療養型医療施設	人数	12	0	0.0	—	—	0.0
④ 介護医療院	人数	48	78	162.5	96	83	86.5
(3) 地域密着型サービス	人数	4,020	2,961	73.7	2,976	3,122	104.9
① 地域密着型通所介護	人数	1,476	1,245	84.3	1,236	1,328	107.4
② 小規模多機能型居宅介護	人数	1,380	643	46.6	648	665	102.6
③ 認知症対応型共同生活介護	人数	1,164	1,048	90.0	1,092	1,099	100.6
④ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	人数	—	25	0.0	—	30	0.0
介護利用人数		77,424	80,325	103.7	74,955	85,062	113.5

介護予防サービス量の実績

単位：回、人、%

区分		令和5年度			令和6年度		
		計画値	実績値	対計画比	計画値	実績値	対計画比
(1) 介護予防居宅サービス	人数	8,136	8,665	106.5	9,108	9,587	105.3
① 介護予防訪問入浴介護	回数	0	7	0.0	0	3	0.0
	人数	0	2	0.0	0	1	0.0
② 介護予防訪問看護	回数	1,304	1,393	106.8	2,424	1,798	74.2
	人数	252	354	140.5	480	428	89.2
③ 介護予防訪問リハビリテーション	回数	2,719	2,544	93.6	5,820	3,154	54.2
	人数	312	484	155.1	612	593	96.9
④ 介護予防居宅療養管理指導	人数	324	1,011	312.0	672	1,266	188.4
⑤ 介護予防通所リハビリテーション	人数	720	339	47.1	408	389	95.3
⑥ 介護予防短期入所生活介護	回数	128	58	45.3	24	176	733.3
	人数	24	15	62.5	12	32	266.7
⑦ 介護予防短期入所療養介護	回数	0	18	0.0	0	15	0.0
	人数	0	3	0.0	0	3	0.0
⑧ 介護予防特定施設入居者生活介護	人数	192	262	136.5	276	245	88.8
⑨ 介護予防福祉用具貸与	人数	2,592	2,749	106.1	2,856	2,873	100.6
⑩ 特定介護予防福祉用具販売	人数	48	49	102.1	36	67	186.1
⑪ 介護予防住宅改修費	人数	84	50	59.5	60	90	150.0
⑫ 介護予防支援	人数	3,588	3,347	93.3	3,696	3,600	97.4
(2) 地域密着型介護予防サービス	人数	24	34	141.7	48	40	83.3
① 介護予防小規模多機能型居宅介護	人数	12	34	283.3	36	33	91.7
② 介護予防認知症対応型共同生活介護	人数	12	0	0.0	12	7	58.3
介護予防利用人数		8,160	8,699	106.6	9,156	9,627	105.1

介護給付費・介護予防給付費の実績

単位：円、%

介護区分	令和5年度			令和6年度		
	計画値	実績値	対計画比	計画値	実績値	対計画比
(1) 居宅サービス	2,935,557,000	2,782,839,739	94.8	3,036,447,000	2,986,411,011	98.4
① 訪問介護	337,312,000	380,873,418	112.9	442,420,000	420,930,067	95.1
② 訪問入浴介護	35,057,000	36,326,060	103.6	35,665,000	39,377,946	110.4
③ 訪問看護	107,645,000	98,546,921	91.5	110,596,000	117,222,114	106.0
④ 訪問リハビリテーション	62,089,000	75,877,107	122.2	81,340,000	81,484,566	100.2
⑤ 居宅療養管理指導	94,126,000	110,153,612	117.0	113,704,000	126,196,634	111.0
⑥ 通所介護	912,642,000	793,881,544	87.0	835,420,000	783,961,327	93.8
⑦ 通所リハビリテーション	230,975,000	183,354,708	79.4	224,674,000	201,990,676	89.9
⑧ 短期入所生活介護	192,385,000	179,075,356	93.1	174,918,000	194,243,413	111.0
⑨ 短期入所療養介護	12,272,000	7,408,978	60.4	8,527,000	7,781,519	91.3
⑩ 特定施設入居者生活介護	476,034,000	455,436,657	95.7	514,424,000	525,688,205	102.2
⑪ 福祉用具貸与	169,855,000	174,508,399	102.7	181,307,000	182,173,137	100.5
⑫ 特定福祉用具販売	6,351,000	7,032,212	110.7	10,592,000	8,409,610	79.4
⑬ 住宅改修費	25,401,000	16,066,814	63.3	15,823,000	14,654,478	92.6
⑭ 居宅介護支援	273,413,000	264,297,953	96.7	287,037,000	282,297,319	98.3
(2) 施設サービス	1,695,080,000	1,559,916,635	92.0	1,927,211,000	1,766,598,667	91.7
① 介護老人福祉施設	1,118,604,000	979,034,358	87.5	1,271,873,000	1,085,787,008	85.4
② 介護老人保健施設	552,689,000	549,255,225	99.4	613,084,000	647,407,440	105.6
③ 介護療養型医療施設	4,585,000	0	0.0	-	-	0.0
④ 介護医療院	19,202,000	31,627,052	164.7	42,254,000	33,404,219	79.1
(3) 地域密着型サービス	664,632,000	481,877,434	72.5	519,097,000	514,945,583	99.2
① 地域密着型通所介護	94,381,000	65,942,725	69.9	69,499,000	72,165,896	103.8
② 小規模多機能型居宅介護	274,517,000	137,681,160	50.2	147,278,000	143,354,290	97.3
③ 認知症対応型共同生活介護	295,734,000	275,624,379	93.2	302,320,000	295,976,042	97.9
④ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0	2,629,170	0.0	0	3,449,355	0.0
介護給付費計	5,295,269,000	4,824,633,808	91.1	5,482,755,000	5,267,955,261	96.1

介護予防区分	令和5年度			令和6年度		
	計画値	実績値	対計画比	計画値	実績値	対計画比
(1) 介護予防居宅サービス	98,189,000	99,120,875	100.9	113,889,000	116,068,036	101.9
介護予防訪問介護	-	0	0.0	-	-	0.0
① 介護予防訪問入浴介護	-	60,007	0.0	-	28,395	0.0
② 介護予防訪問看護	6,103,000	8,547,147	140.0	12,185,000	11,061,997	90.8
③ 介護予防訪問リハビリテーション	8,207,000	14,969,940	182.4	17,680,000	17,846,000	100.9
④ 介護予防居宅療養管理指導	3,872,000	7,113,461	183.7	8,191,000	9,114,033	111.3
介護予防通所介護	-	0	0.0	-	-	0.0
⑤ 介護予防通所リハビリテーション	24,581,000	13,063,372	53.1	15,805,000	14,050,669	88.9
⑥ 介護予防短期入所生活介護	799,000	379,914	47.5	171,000	1,026,590	600.3
⑦ 介護予防短期入所療養介護	-	146,677	0.0	-	135,719	0.0
⑧ 介護予防特定施設入居者生活介護	14,727,000	18,624,625	126.5	20,326,000	18,977,295	93.4
⑨ 介護予防福祉用具貸与	12,859,000	14,294,312	111.2	14,286,000	16,106,680	112.7
⑩ 特定介護予防福祉用具販売	1,520,000	1,102,027	72.5	916,000	1,632,538	178.2
⑪ 介護予防住宅改修	8,913,000	5,179,049	58.1	6,116,000	8,653,711	141.5
⑫ 介護予防支援	16,608,000	15,640,344	94.2	18,213,000	17,434,409	95.7
(2) 地域密着型介護予防サービス	3,621,000	2,954,542	81.6	5,808,000	4,623,825	79.6
介護予防地域密着型通所介護	-	0	0.0	-	-	0.0
① 介護予防小規模多機能型居宅介護	1,204,000	2,954,542	245.4	3,310,000	2,859,198	86.4
② 介護予防認知症対応型共同生活介護	2,417,000	0	0.0	2,498,000	1,764,627	70.6
予防給付費計	101,810,000	102,075,417	100.3	119,697,000	120,691,861	100.8

総給付費	5,397,079,000	4,926,709,225	91.3	5,602,452,000	5,388,647,122	96.2
------	---------------	---------------	------	---------------	---------------	------

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	高齢者政策係
-----	-------	-----	--------

現 行 計 画	基本目標	1	いきいきと活力ある高齢期を過ごすための取組	ページ	59
	施策の柱	(1)	高齢者の健康づくりと地域福祉活動等への参加促進		
	主な取組	①	地域交流の促進		
	取組の方向性	高齢者の心身の健康を維持・増進し、社会参加を促すために、スポーツ・レクリエーション活動等を通じて、幅広い世代間の交流を図ります。			

【取組の実施状況】

令和6年6月15日にエイトアリーナで高齢者と障がい者のスポーツの祭典を開催し、概ね1,000人の高齢者と障がい者が参加しました。

評価	☒ 順調	☐ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				高齢者の心身の健康を維持・増進し、社会参加を促すために、身近で気軽に参加できるスポーツ・レクリエーション活動を通じて、幅広い世代間の交流が行えたため。

【取組の課題】

特にありません。

今後の方向性	☒ 現状のまま 継 続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
--------	--	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	---

【今後の対応】

引き続き、世代間交流や生きがいづくりが図れる方法等について検討します。

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	高齢者政策係
-----	-------	-----	--------

現 行 計 画	基本目標	1	いきいきと活力ある高齢期を過ごすための取組	ページ	59
	施策の柱	(1)	高齢者の健康づくりと地域福祉活動等への参加促進		
	主な取組	②	老人福祉センター事業		
	取組の方向性	高齢者の生きがいづくりや憩いの場、交流の場として、60歳以上の人を対象に教養の向上やレクリエーション、健康に関する相談、入浴サービス等を実施している「寿楽荘」、「すえひろ荘」の各老人福祉センターの利用促進を図るとともに、趣味の教室や八潮市寿大学校等の各事業の充実を図ります。 また、老人福祉センターは、高齢者の活動拠点であるため、多くの高齢者が気軽に利用し、様々なニーズに対応することができるよう、指定管理者による自主的な施設運営を促進します。 さらに、施設の老朽化や機能強化等への対応について、高齢者のニーズを踏まえて検討します。			

【取組の実施状況】

令和6年度の利用者数は、寿楽荘で延べ8,216人、すえひろ荘で延べ4,525人でした。そのうちお風呂利用者数は、寿楽荘で延べ4,854人、すえひろ荘で延べ1,770人でした。

嘱託医による健康相談及び看護師による保健指導は、寿楽荘で47日開催し、利用者数は延べ477人、すえひろ荘で47日開催し、利用者数は延べ415人でした。

ヨガ教室をすえひろ荘で6回開催し、利用者数は延べ13人でした。

書道教室を寿楽荘で23回開催し、利用者数は延べ135人でした。

利用者からのアンケート結果について、総合評価は寿楽荘、すえひろ荘ともに満足との回答が多数でした。

評価	■順調	□概ね順調	□遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				利用者からのアンケート結果が好評のため。

【取組の課題】

老人福祉センターの利用促進を図るため、介護予防への取組みを強化するなど、市民ニーズに対応した事業展開が求められています。また、施設の老朽化により施設修繕が必要となっています。

今後の方向性	■現状のまま 継続	□休止・廃止	□終了・完了	□見直して継続	□他事業と統合 して継続
--------	--------------	--------	--------	---------	-----------------

【今後の対応】

教養の向上やレクリエーション、入浴サービス等の利用促進を図るとともに、高齢者の様々なニーズに対応することができるよう、今後も、指定管理者による自主的な施設運営を促進します。

施設の老朽化や機能強化などへの対応について、引き続き検討していきます。

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------

現 行 計 画	基本目標	1	いきいきと活力ある高齢期を過ごすための取組	ページ	60
	施策の柱	(1)	高齢者の健康づくりと地域福祉活動等への参加促進		
	主な取組	③	高齢者の憩いの場づくり		
	取組の方向性	ひとり暮らし高齢者が増加する中で、地域における社会的孤立を防止することは、心身の健康維持や介護予防につながります。そのため、地域で高齢者が気軽に集い、仲間づくりや世代間交流等ができる憩いの場として、空き家等を活用した「高齢者ふれあいの家」の開設者を支援します。			

上段：目標値、下段：実績値

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
開設か所数（か所）	5	6	7	9
	5	7	9	10

【取組の実施状況】

生活支援コーディネーターと連携し、高齢者ふれあいの家の開設に興味を持っている方に、事業の趣旨や助成の内容について説明を行い、令和6年度は新たに1か所開設され、10か所となりました。

設置場所	運営実績（令和6年度）
①たんぽぽカフェ（八条2835番地15） 毎週火曜・木曜（13時～15時）	年97回（参加者774人）平均8人
②カフェしおどめ（シルバー人材センター内） 毎週月曜・水曜（13時～16時）	年39回（参加者102人）平均2.6人
③ふれあいの家の茶の間（中央1丁目5番地13） 毎週水曜・金曜（13時～15時）	年99回（参加者26人）平均0.3人
④ふれんど（大曽根452番地5） 毎週月曜・金曜（10時～12時）	年78回（参加者479人）平均6.1人
⑤ばあ～ばの家（八潮6丁目8番地12） 毎週月曜・木曜・最終金曜（10時～15時30分）	年104回（参加者1,194人）平均11.5人
⑥こうゆう（圀17番地） ※令和6年9月廃止 毎週金曜（14時～16時）	年20回（参加者130人）平均6.5人
⑦よりそい処H ₂ O（中央4丁目1番地13イトー寿薬局内） 毎週水曜（10時～12時）	年41回（参加者134人）平均3.3人
⑧よりそい処H ₂ O 南後谷（南後谷754番地12やしお薬局内） 毎週水曜（14時～16時）	年41回（参加者88人）平均2.1人
⑨カフェさくら（中央1丁目24番地1） 毎週木曜（13時30分～15時30分）	年50回（参加者785人）平均15.7人
⑩虹いろカフェ（八条1313番地） 毎週月曜・金曜（10時30分～13時30分）	年30回（参加者231人）平均7.7人
合 計	年599回（参加者3,943人）平均6.6人

評価	☒ 順調	☐ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				開設か所数が目標値を超えたため。
【取組の課題】 開設数は目標値を超えていますが、参加者の増加につながっていません。				

今後の方向性	☒ 現状のまま 継 続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
【今後の対応】 生活支援コーディネーターと連携し、各協議体の場を活用して、サロンやカフェ等の高齢者の集いの場の開設に興味を持っている方へ、事業の趣旨や助成の内容等について説明を行います。 また、高齢者ふれあいの家の新規開設に向けて効果的なものとなるよう、市広報紙への掲載や市民向けの講演会、フォーラム等で事業周知を行なうとともに、チラシやホームページの内容について随時見直しを行います。					

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	高齢者政策係
-----	-------	-----	--------

現 行 計 画	基本目標	1	いきいきと活力ある高齢期を過ごすための取組	ページ	60
	施策の柱	(1)	高齢者の健康づくりと地域福祉活動等への参加促進		
	主な取組	④	各種団体への支援 ア) 八潮市シルバー人材センター		
	取組の方向性		八潮市シルバー人材センターは、社会参加や生きがいづくりを希望する働く意欲のある高齢者を対象に、短期的な就業や一般労働者派遣等の機会を組織的に提供しています。 活力ある高齢者が地域活動の担い手、支え手となるよう、八潮市シルバー人材センターが果たす役割は、今後ますます重要となり、新しい職種の開拓や地域に密着した就業機会の提供により、会員の増加や交流の機会など、活動の充実が求められています。高齢者の社会参加の促進を図るため、八潮市シルバー人材センターの安定した運営を支援します。		

【取組の実施状況】

令和6年度の八潮市シルバー人材センター会員数は459人と、令和5年度の474人と比べて15人減少しています。

令和元年度から会員拡大のため、各種広告の掲載、新聞折込やポスティングによる会員募集チラシの配布、公共施設へのリーフレットの配布等の普及啓発を行っており、令和6年度も引き続き実施しました。

令和6年度の受注件数は、契約形態の見直しを行った結果、1,068件と令和5年度の1,208件と比べて140件減少しています。

令和5年度と比較して、個人からの受託件数では、駐車場管理、屋内清掃作業、家事援助サービスなどが増加しています。

就業を通しての社会参加や生きがいづくりを希望する働く意思のある高齢者に対し、シルバー人材センターを通じて就業支援を実施しました。

評価	☐ 順調	☒ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				会員拡大のための普及啓発を行ったが、会員数は令和5年度より減少しているため。

【取組の課題】

会員数が減少したことが課題です。

今後の方向性	☒ 現状のまま 継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
--------	---	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	---

【今後の対応】

会員拡大を推進するため、今後も、新聞の折り込みチラシや電柱広告等、会員拡大の取組みを行うとともに、新しい職種の開拓や地域に密着した就業機会の提供により、働く意欲のある高齢者の社会参加の促進を図り、八潮市シルバー人材センターの安定した運営を支援します。

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	高齢者政策係
-----	-------	-----	--------

現 行 計 画	基本目標	1	いきいきと活力ある高齢期を過ごすための取組	ページ	60
	施策の柱	(1)	高齢者の健康づくりと地域福祉活動等への参加促進		
	主な取組	④	各種団体への支援 イ) 八潮市老人クラブ連合会（きらめきクラブ八潮）		
	取組の方向性		八潮市老人クラブ連合会（きらめきクラブ八潮）は、地域の高齢者が自ら行う社会参加や生きがいづくり活動を通じ、高齢者が地域社会を支える役割を担っています。 地域を単位とする各クラブにおける趣味やスポーツによる健康づくり等の自主的な活動や、地域での社会活動をはじめ、各クラブにおける事業活動の充実や活性化が図れるよう、ボランティア団体や社会福祉協議会等と連携し、活動を支援します。		

【取組の実施状況】

令和6年度老人クラブ数 30 団体、会員 1,248 人（対前年度：△111 人）

事業の実施状況

① 草加・八潮交流ゲートボール大会

令和6年9月26日に開催し、参加数5チーム（うち八潮1チーム）、八潮の参加人数は5人でした。

② 八潮市グラウンドゴルフ大会

第38回は令和6年5月16日に開催し、参加数20団体、参加人数は86人でした。

第39回は令和6年9月12日に開催し、参加数20団体、参加人数は76人でした。

③ 素人演芸大会

昨年度に引き続き、寿楽荘において「カラオケ大会」を2日間開催し、参加人数は81人でした。

評価	☐ 順調	☒ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				会員数が減少しているため。

【取組の課題】

老人クラブの団体数及び会員数がともに減少しており、高齢者のニーズが多様化している中で、各老人クラブにおける活動の充実や魅力ある組織づくりが必要となっています。

今後の方向性	☒ 現状のまま 継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
--------	---	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	---

【今後の対応】

各老人クラブにおける趣味やスポーツによる健康づくりなどの自主的な活動や、地域での社会活動などの充実や活性化が図れるよう、社会福祉協議会等と連携して活動を支援します。

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	高齢者政策係
-----	-------	-----	--------

現 行 計 画	基本目標	1	いきいきと活力ある高齢期を過ごすための取組	ページ	60
	施策の柱	(1)	高齢者の健康づくりと地域福祉活動等への参加促進		
	主な取組	⑤	長寿祝金支給事業		
	取組の方向性	多年にわたり社会に貢献してきた高齢者に敬愛を示し、節目の年（80 歳・88 歳・100 歳）に祝金を支給する「長寿祝金支給事業」について実施します。			

【取組の実施状況】

八潮市長寿祝金給付条例に基づき、次のとおり長寿祝金を支給しました。（基準日 毎年9月15日）

区 分	1人あたり支給額	支給人数	支給額
満80歳	10,000円	885人	8,850,000円
満88歳	20,000円	374人	7,480,000円
満100歳	50,000円	5人	250,000円
過年度分 満77歳	5,000円	人	円
過年度分 満80歳	10,000円	1人	10,000円
過年度分 満88歳	20,000円	人	円
合 計		1,265人	16,590,000円

令和6年度の対象人数は1,284人、支給人数は1,264人で支給率は98.1%でした。

なお、令和元年度から給付対象年齢（77歳、90歳、99歳、100歳以上の4区分を削除）を見直し継続実施しています。

評価	■順調	□概ね順調	□遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				対象の方に祝金を支給できているため。

【取組の課題】

特にありません。

今後の方向性	■現状のまま 継続	□休止・廃止	□終了・完了	□見直して継続	□他事業と統合 して継続
--------	--------------	--------	--------	---------	-----------------

【今後の対応】

高齢者を敬愛し、節目の年に祝金を給付する事業については、今後も継続して実施します。

また、平均寿命の延伸に伴い、今後改めて給付対象年齢を見直すことも検討します。

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	高齢者政策係
-----	-------	-----	--------

現 行 計 画	基本目標	1	いきいきと活力ある高齢期を過ごすための取組	ページ	61
	施策の柱	(1)	高齢者の健康づくりと地域福祉活動等への参加促進		
	主な取組	⑥	思いやり駐車場制度（パーキング・パーミット制度）の周知		
	取組の方向性	高齢者や障がい者など、歩行が困難な人のための駐車区画について、利用者の範囲を定め利用証を交付することで、対象となる駐車区画を必要とする人が安心して駐車できる環境づくりを推進します。			

【取組の実施状況】

令和6年度は18人に利用証を交付しました。

評価	☒ 順調	☐ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				申請者に利用証を交付できているため。

【取組の課題】

特にありません。

今後の方向性	☒ 現状のまま 継 続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
--------	--	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	---

【今後の対応】

駐車区画を必要とする人が安心して駐車できる環境づくりを推進するよう、関係各課との連携や制度の周知に努めます。

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	健康増進課	記入者	保健医療係
-----	-------	-----	-------

現 行 計 画	基本目標	1	いきいきと活力ある高齢期を過ごすための取組	ページ	61
	施策の柱	(1)	高齢者の健康づくりと地域福祉活動等への参加促進		
	主な取組	⑦	健康づくり事業〈保健センター〉 ア)健康づくりと介護予防の総合的・一体的な提供		
	取組の方向性		健康寿命の延伸に向けた取組の効果的な展開のためには、若いときから生活習慣病予防を重点とした健康づくりと介護予防等を総合的・一体的に進めることが必要であることから、市民が自分の健康に関心を持ち、主体的に健康づくりに取り組めるよう、年代や身体状況に応じた健康づくり事業を実施します。 特に後期高齢者については、複数疾患の合併や加齢に伴う「フレイル」、認知症の進行など、健康上の課題が大きくなるため、高齢者の特性や地域の健康課題を踏まえ、地域での活動や医療、介護等のサービスを適切につなげ、必要な保健指導等の健康支援を行うなど、関係課等と連携して「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」に取り組めます。 ○事業 a 健康づくり事業 各種健康講座や健康づくり懇話会を実施するとともに、ICTを活用した事業を実施し、健康づくりに主体的に取り組めるよう支援します。また、健康づくりに関する知識の普及啓発及び各種事業の利用促進を図るため、広報やしお等により、健康情報や各種事業内容等について発信します。 b 各種健診（検診）の実施と受診勧奨 胃がん、肺がん等の各種がん検診や骨粗しょう症検診、歯周疾患検診等を実施します。また、受診率向上のため、受診勧奨通知を発送します。 c 専門職による健康相談の実施 保健師や栄養士による健康相談会を実施するとともに、電話や来所による健康相談・栄養相談を随時実施します。 d 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施 高齢者の心身の多様な課題に対応し、きめ細かな支援を実施するため、国保データベース（KDB）システムを活用し、地域の健康課題を分析した上で、関係団体と連携を図り、保健事業と介護予防事業を一体的に実施します。		

【取組の実施状況】

a 健康づくり事業

①各種事業の実績

市民が身近なところで気軽に健康づくりができるよう、以下の事業等を実施しました。

事業名	実施回数	参加者数(人)	内容等
健康づくり懇話会	2 町会(5 回)	延 186	講話と座談会等
ウォーキング講習会	3 回	延 70	
ラジオ体操講習会	1 回	50	
健康長寿サポーター養成講座	5 回	80	出前講座等で実施
コバトン ALK00(あるこう)マイレージ ハッピーこまちゃん健康ポイント	-	登録者 825	R6 新規。健康マイレージの後継事業
体力づくり講座	3 回	延 82	筋トレ講座、ウォーキング講座、栄養講座

②健康づくり行動計画の策定

市民の健康づくりを総合的に推進するための計画として、食育推進計画を栄養・食生活の領域に包含した「第3次八潮市健康づくり行動計画」を策定しました。また、自殺対策を推進するための計画として、「第2次八潮市いのち支える自殺対策計画」を策定しました。

b 各種健診(検診)の実施と受診勧奨

①各種健診(検診)

集団検診を保健センターで、個別検診を委託医療機関で実施しました。

健診(検診)	対象者	受診者数(人)	備考
胃がん検診(バリウム)	40 歳以上	877	集団検診
胃がん検診(内視鏡)	50 歳以上	495	個別検診。2 年に 1 回
肺がん検診	40 歳以上	1,569	集団検診
大腸がん検診	40 歳以上	6,040	個別検診
子宮頸がん検診	20 歳以上	2,513	個別検診
乳がん検診	40 歳以上	1,571	集団検診 767 人 個別検診 804 人
前立腺がん検診	50～75 歳の 5 歳ごと	269	個別検診
骨粗しょう症検診	20 歳以上の女性	1,356	集団検診
歯周疾患検診	20、30、40～70 歳の 5 歳ごと	383	個別検診。R6 から 20、30 歳追加
肝炎ウイルス検診	40 歳以上の未検診者	442	個別検診
ヘルシーチェック健康診査	20～39 歳	258	集団検診

②受診勧奨

がん検診等の受診率向上のため、対象者に受診勧奨通知を発送しました。

健診内容	対象者	人数(人)
胃・肺・大腸・子宮・乳がん、骨粗しょう症・肝炎・歯周疾患	40 歳到達者	1,256
胃・肺・大腸・子宮・乳・前立腺がん、骨粗しょう症・肝炎	41～70 歳	36,531
子宮頸がん検診(無料クーポン券)	20 歳(前年度到達者)	383
乳がん検診(無料クーポン券)	40 歳(前年度到達者)	575
歯周疾患検診	20、30、45～70 歳の 5 歳ごと	9,388
ヘルシーチェック健康診査	前年、前々年度受診し本年未受診者	281

c 専門職による健康相談の実施

① 重点健康相談

健診(検診)結果の個別説明と併せた健康相談や病態別の個別相談を実施しました。実績：190 回、240 人

② 総合健康相談

健康に関する全般的な健康相談として実施しました。実績：6 回、6 人

d 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施

① ハイリスクアプローチ

国保データベース(KDB)システムを活用し、健診の結果、身体的虚弱の状態がある方や糖尿病治療中断者、健診や医療機関の受診履歴のない方について、個別に訪問や電話により状態を把握し、必要な支援を行ないました。

② ポピュレーションアプローチ

高齢者の通いの場等での相談ができる場づくりや積極的な関与として健康教育を実施しました。

評価	■順調	□概ね順調	□遅れ	判断理由
順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている) 概ね順調(最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調) 遅れ(このままでは最終目標の達成が難しい)				各種健康講座や健康長寿サポーターの養成、コバトン ALKOO マイレージ事業等を実施し、市民の主体的な健康づくりに向けた働きかけが行えているため。
【取組の課題】 今後も、市民が健康に関心を持ち、主体的に健康づくりに取り組めるよう、事業の周知方法や事業展開などの工夫が必要です。				

今後の方向性	☒ 現状のまま 継 続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
【今後の対応】 引き続き、市民が主体的に健康づくりに取り組めるよう、「第3次八潮市健康づくり行動計画」に基づき、健康づくり事業を実施します。					

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	健康増進課	記入者	成人保健担当
-----	-------	-----	--------

現 行 計 画	基本目標	1	いきいきと活力ある高齢期を過ごすための取組	ページ	62
	施策の柱	(1)	高齢者の健康づくりと地域福祉活動等への参加促進		
	主な取組	⑦	健康づくり事業〈保健センター〉 イ) こころの健康づくりに向けた事業		
	取組の方向性	こころの健康状態は、うつ病等の精神疾患を引き起こすだけでなく身体にも影響を及ぼし、高齢者にとっては生活機能の低下や栄養状態の悪化を招くなど要介護状態につながる可能性があることから、こころの健康について正しい知識の普及・啓発に努めます。 ○事業 a 専門職による「こころの健康相談」及び個別相談の実施 精神科医による「こころの健康相談」を実施するとともに、保健師による個別相談を実施します。 b 「こころの健康講座」の開催 「こころの健康講座」を開催するとともに、広報やしお、市ホームページ、やしお840メール配信サービス等により、こころの健康づくりに関する正しい知識の普及啓発を図ります。 c 専門職や関係機関との連携 個別事例等に対しては、地域包括支援センターや生活支援センターなど、関係機関との連携を図り、適切な取組の推進を図ります。			

【取組の実施状況】

- a 精神科医による「こころの健康相談」は8回実施し、実施者は10人でした。
- 保健師による個別相談は、家庭訪問を延20人に実施し、その他、随時電話相談も行いました。
- b こころの健康講座は、1回実施し、28人参加しました。
- c 個別事例等に対しては、関係機関との連携を随時行っています。

評価	■順調	□概ね順調	□遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				医師や保健師との個別相談や訪問、電話相談を、必要な方に対して実施しており、また、講座の開催により広くこころの健康について啓発が行えているため。

【取組の課題】

こころの悩みは相談しにくく、抱え込みやすいため、広く周知し、情報提供を行い、適切な相談機関へつなげることが必要です。また、他機関の連携を密にし、世帯で抱えている複合的な課題の解決に向けて支援していく必要があります。

今後の方向性	■現状のまま 継続	□休止・廃止	□終了・完了	□見直して継続	□他事業と統合して継続
--------	--------------	--------	--------	---------	-------------

【今後の対応】

適宜、実施方法等は見直しを行いながら、必要な方に支援が行えるよう取り組みます。

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	介護支援係
-----	-------	-----	-------

現 行 計 画	基本目標	1	いきいきと活力ある高齢期を過ごすための取組	ページ	63
	施策の柱	(2)	介護予防の推進		
	主な取組	①	フレイルチェック事業		
	取組の方向性		加齢による筋力、認知機能、社会とのつながりの低下により引き起こされる虚弱な状態を早期に発見し、健康な状態を取り戻すため、「東京大学高齢社会総合研究機構」が開発したプログラムに基づく「フレイルチェック事業」を開始しました。「フレイルチェック測定会」を実施し、高齢者が自らの健康状態に気づき、「栄養・運動・社会参加」など日ごろの生活を見直せるよう、フレイル予防に取り組みます。 【目的】 ・多くの高齢者が自らの健康状態を知る 自分の体力や筋力等を測定し、自らの健康状態をチェックすることで、フレイル予防への気づきを促し、行動変容を促進します。 ・介護予防の強化 介護予防（体操）教室等に通い、健康を意識している人にも定期的に測定し、個々の測定データに基づくフォローアップを行うことで介護予防の強化を促します。 ・フレイルサポーターとしての活躍の場 フレイルサポーター（地域のフレイル予防応援ボランティア）を養成し地域での活躍の場につなげます。 フレイルチェック測定会の開催に当たっては、フレイルサポーターに活動していただくことにより、市民の健康寿命の延伸やフレイル予防に役立つよう取り組みます。 また、フレイルのリスクの高い方を「KDBシステム」から抽出し、地域包括支援センターと連携してフレイルチェック測定会への参加を促したり、測定結果から経過観察が必要な人を定期的にフォローするなど、「KDBシステム」を活用する仕組みを検討し、より効果的な実施を目指します。		

【取組の実施状況】

令和2年度から本格的に「東京大学高齢社会総合研究機構」が開発したプログラムに基づくフレイルチェック事業を開始しました。令和6年度は、3名のフレイルサポーター5期生を養成し、フレイルサポーターを主体としたフレイルチェック測定会を毎月1回開催しました。令和6年度は、計12回の開催で113人が参加しました。測定会では、健康状態の確認や専用機器を用いた測定、座学を行い、自らの健康状態への気づきと行動変容につなげるプログラムを実施しました。

また、2回目以上の参加者に対して「フレイルチェック測定会リピーターの日」を2回開催し20人が参加しました。リピーター向けの測定会では、毎月開催している測定会の測定項目に歩行速度等の測定を加えたり、前回の測定結果やこれまでの取組を振り返り今後につなげる内容を取り入れました。

さらに、フレイルのリスクが高い方を「KDBシステム」から101人を抽出し、地域包括支援センターと連携してフレイルチェック測定会への参加を促したり、測定結果から経過観察が必要な方に関しては定期的にフォローするなどの取組を行いました。

評価	☒ 順調	☐ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				毎月1回定期的にフレイルチェック測定会を開催するとともにフレイルのリスクが高い方に対する支援の流れを構築して事業を展開しているため。また、フレイルサポーターによるフレイル予防活動が軌道にのり始めたため。
【取組の課題】 フレイルのリスクが高い方にフレイルチェック測定会へ参加してもらい、気づきや行動変容につながる人を増やす必要があります。				

今後の方向性	☒ 現状のまま 継 続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
【今後の対応】 より多くの高齢者に自らの健康状態を知ってもらうため、引き続きフレイルチェック測定会やリピーター向けフレイルチェック測定会を定期的に行い、その周知に努めます。 また、参加者の行動変容を促すため、介護予防に関する情報提供や地域包括支援センターとの連携を継続します。 フレイルチェック測定会の参加者等が、更に知識を深め、継続した取り組みが行えるよう、フレイル予防に特化したフレイル予防教室を令和6年度から開催しました。					

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	介護支援係
-----	-------	-----	-------

現行計画	基本目標	1	いきいきと活力ある高齢期を過ごすための取組	ページ	64
	施策の柱	(2)	介護予防の推進		
	主な取組	②	一般介護予防事業 ア) 介護予防把握事業		
	取組の方向性	地域の実情に応じて収集した情報や、地域包括支援センターとの連携により、閉じこもり等の何らかの支援を要する人を把握し、介護予防活動につなげます。			

【取組の実施状況】

地域包括支援センターと連携して何らかの支援を必要とする方を把握し、介護予防活動につなげるよう随時支援を行いました。

地域包括支援センターが新たに把握した件数は、696件でした。また、令和6年度のフレイルチェック測定会参加者について、フレイルのリスクが高いと判定された方21人を要観察者として、地域包括支援センターが支援を行いました。

評価	■順調	□概ね順調	□遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				地域包括支援センターとの連携により、随時、支援を必要とする方を介護予防活動につなげていることに加え、フレイルチェック測定後の要観察者を把握し、継続した支援を行っているため。
【取組の課題】 特にありません。				

今後の方向性	☒ 現状のまま 継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合して継続
【今後の対応】 今後も、地域包括支援センターと連携し、KDBなどのデータを活用しながらフレイルのリスクが高い方など何らかの支援を必要とする方を把握し、介護予防活動につなげられるよう努めていきます。					

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	介護支援係
-----	-------	-----	-------

現 行 計 画	基本目標	1	いきいきと活力ある高齢期を過ごすための取組	ページ	64
	施策の柱	(2)	介護予防の推進		
	主な取組	②	一般介護予防事業 イ) 介護予防普及啓発事業		
	取組の方向性		介護予防に関する基本的な知識を普及・啓発するために、パンフレットの作成・配布、講演会や相談会の実施、介護予防の観点から効果が認められる運動及び栄養指導等を行う「介護予防教室」を開催します。 また、フレイル予防に特化した介護予防教室を新たに開催し、介護が必要になる原因の低減を目指します。 さらに、フレイルチェック事業を拡充することで、介護予防の強化を図ります。		

上段：目標値、下段：実績値

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
体操教室参加者数 (人)	800	840	880	1,400
	349	337	324	1,180

※令和3年度から5年度は70～79歳の参加者数、令和6年度からは65歳以上の参加者数

【取組の実施状況】

介護予防の普及啓発に関する講演会や、相談会、運動や栄養、口腔機能向上のための介護予防教室を実施しました。介護予防普及啓発事業の実施回数は472回、参加者の延べ人数は12,046人でした。このうち、フレイル予防に特化した「フレイル予防教室」は24回実施し、延126人が参加しました。

介護予防教室及び八潮いきいき体操参加者に介護予防手帳を配布し、介護予防のための目標設定や活動の記録等を行うことで、自主的な介護予防活動を促しました。令和6年度は896人に配布しました。

フレイルチェックについては、継続して実施している簡易チェックを八潮いきいき体操の各会場において、理学療法士派遣時に263人に対して実施しました。

生涯学習まちづくり出前講座のメニューに掲載のある「フレイル予防について」では、3件の依頼がありました。

評価	☐ 順調	☒ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				フレイルの日イベントの開催、フレイルサポーターの養成、フレイルチェック測定会の開催など、フレイル予防事業を開催することができたため。

【取組の課題】

介護予防教室においては、効果的な実施方法の検討や新規の参加者が少ないため、引き続き介護予防の重要性について市民へ周知が必要です。

また、介護予防教室だけでなく自主的な介護予防活動の促進につなげることや、フレイル予防に関心を持ち自らの介護予防に積極的に取り組んでもらう普及啓発が必要です。

今後の方向性	☐ 現状のまま 継 続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☒ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
【今後の対応】 介護予防の重要性について高齢者などへ周知を図っていきます。また、介護予防手帳の中の、1日8種類の活動を毎日取り組めるような資料の継続や介護予防事業以外のボランティア活動、シルバー人材センター等の事業を掲載することで、自主的な介護予防の取り組みを促します。 また、介護予防教室の参加者に対して実施している「フレイルチェック（簡易チェック）」について、引き続き実施します。現行の体操教室とは別に、フレイルの改善を目的とした、運動・栄養・口腔を一体化した教室の開催を目指し、より介護予防とフレイル予防のつながりを強めます。 フレイルチェック測定会を毎月開催し、体操教室等に参加していない方に対しても、自らの状態に気づき、フレイル予防へつながられる機会を提供します。また、年2回のフレイルチェック測定会リピーターの日を開催することで、自らの健康状態の変化への気づきを促します。					

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	介護支援係
-----	-------	-----	-------

現行計画	基本目標	1	いきいきと活力ある高齢期を過ごすための取組	ページ	65
	施策の柱	(2)	介護予防の推進		
	主な取組	②	一般介護予防事業 ウ) 地域介護予防活動支援事業		
	取組の方向性		町会・自治会や有志が集い、「八潮いきいき体操（通いの場）」を実施している会場に、専門職（管理栄養士、歯科衛生士）を派遣することで、より効果的な介護予防に取り組めるよう支援します。 また、八潮いきいき体操に関するボランティア等の人材育成のため、「八潮いきいき体操リーダー養成講座」を実施します。 今後は、身近な所で、より介護予防に効果的となる取組として、おもりを使った筋力トレーニング「いきいき百歳体操」を八潮いきいき体操の会場や高齢者ふれあいの家を始めとして市内全域で上げられるよう支援します。		

【取組の実施状況】

八潮いきいき体操を実施する団体に、管理栄養士を26団体に合計26回、歯科衛生士を24団体に合計24回派遣しました。

八潮いきいき体操リーダー連絡会を1回開催し、リーダーとともに八潮いきいき体操の課題や八潮いきいき体操交流会の内容について検討を行いました。

八潮いきいき体操を休止している団体がまだあることから、「八潮いきいき体操リーダー養成講座」は実施しませんでした。

評価	☐ 順調	☒ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				新型コロナウイルス感染拡大防止をきっかけに活動を休止し再開できていない団体があるが、八潮いきいき体操リーダー連絡会において、リーダーとともに課題等の解決に向けて検討を進めているため。

【取組の課題】

専門職の派遣については、団体ごとの希望により実施していますが、派遣を希望しない団体もあり、介護予防における栄養・口腔の重要性の周知や各団体のニーズに合った派遣を行うための検討が必要です。

また、参加者の減少や高齢化が進んでいる会場があるため、八潮いきいき体操についてさらに市民へ周知するとともに、各団体で新たな参加者の募集について検討する必要があります。

今後の方向性	☒ 現状のまま 継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合して継続
--------	---	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	-------------------------------------

【今後の対応】

今後も、八潮いきいき体操がより身体機能の維持向上等に効果的なものとなり、継続して行えるよう、八潮いきいき体操リーダー連絡会の開催などを通して課題への対応を進めていきます。

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	介護支援係
-----	-------	-----	-------

現行計画	基本目標	1	いきいきと活力ある高齢期を過ごすための取組	ページ	65
	施策の柱	(2)	介護予防の推進		
	主な取組	②	一般介護予防事業 エ) 地域リハビリテーション活動支援事業		
	取組の方向性		八潮いきいき体操を実施している会場に専門職（理学療法士）を派遣することで、より効果的な介護予防に取り組めるよう支援します。		

【取組の実施状況】

八潮いきいき体操を実施する団体に理学療法士を28団体に合計28回派遣し、フレイルチェック（簡易チェック）の実施や運動の効果、体操の実践について指導を行いました。

評価	☒ 順調	☐ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				理学療法士を派遣し、フレイルチェック及びフレイルを予防する運動の指導を実施し、介護予防につなげることができたため。

【取組の課題】

特にありません。

今後の方向性	☒ 現状のまま 継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合して継続
--------	---	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	-------------------------------------

【今後の対応】

八潮いきいき体操において、指導内容等がより効果的なものになるよう、リハビリ専門職の意見を踏まえ、実施します。

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	介護支援係、地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------------

現 行 計 画	基本目標	1	いきいきと活力ある高齢期を過ごすための取組 ～元気に生きがいをもって～	ページ	65
	施策の柱	(2)	介護予防の推進		
	主な取組	②	一般介護予防事業 オ) 介護支援ボランティア制度の実施		
	取組の方向性		高齢者が社会参加や地域貢献をしながら、自らの介護予防に積極的に取り組むことを目的として、65歳以上の人がフレイルチェック測定会やオレンジカフェなど市の事業や介護施設等においてボランティア活動をする「介護支援ボランティア制度」を実施します。 また、この制度の実施を踏まえて高齢者が地域支援事業の担い手となるよう、新たな活躍の場を検討します。		

上段：目標値、下段：実績値

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
登録人数（人）	100	100	100	100
	49	53	82	86
受入施設数（か所）	27	27	27	27
	25	25	25	25
フレイルチェック 測定会（回）	12	12	12	12
	10	12	12	12
オレンジカフェ（回）	48	48	48	48
	31	39	48	48

【取組の実施状況】

令和6年度末時点でボランティア受入施設は25か所でボランティア登録は86人でした。

また、令和6年度に活動したボランティアのうち、ボランティアポイントを換金したのは45人、換金総額は136,000円でした。

オレンジカフェは各地域包括支援センター内で月1回実施しており、実施回数は合計48回でした。認知症サポーターを含むボランティアが合計158人参加しました。

評価	☐ 順調	☒ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				オレンジカフェについては、各地域包括支援センターで、内容やボランティアの活用について工夫して実施、計画通り開催されているため。

【取組の課題】

より多くの方に参加していただけるよう、制度の普及に努めるとともに、高齢者が地域の担い手となるような活躍の場の検討が必要です。

今後の方向性	☐ 現状のまま 継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☒ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
--------	--------------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--	---

【今後の対応】

施設でのボランティアに限らず、市主催で行う介護予防教室等において、高齢者がボランティアとして活躍できる仕組みの検討を行います。また、引き続き、より多くの方に参加していただけるよう、制度の普及に努めます。

オレンジカフェ（認知症カフェ）では、ボランティアに運営面でも活躍できるよう認知症地域支援推進員と共に検討します。

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	介護支援係
-----	-------	-----	-------

現行計画	基本目標	1	いきいきと活力ある高齢期を過ごすための取組	ページ	66
	施策の柱	(2)	介護予防の推進		
	主な取組	②	一般介護予防事業　カ) 一般介護予防事業評価事業		
	取組の方向性	介護予防に関する普及啓発、ボランティアや地域活動組織との連携など、事業が適切に実施できているか実施回数・参加人数等の検証を通じて、「一般介護予防事業」の評価をし、その結果に基づき事業の改善を図ります。			

【取組の実施状況】

介護予防教室参加者から採ったアンケートでは、主観的健康感の項目で、良好の回答が約6割という状況でした。
 高齢者実態調査の結果や要介護認定の申請理由となる原因、介護予防教室参加者からのアンケート結果等から、健康課題や介護予防に関する課題を整理し、介護予防教室の見直しを検討しました。

評価	☒ 順調	☐ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				介護予防教室におけるフレイルチェックの実施やアンケート結果を通じて、参加者の健康状態を把握し、介護予防のニーズに合った事業の検討を行っているため。

【取組の課題】

フレイル測定参加者が、よりフレイル予防に取り組むことができるよう、フレイル予防に特化した介護予防教室の開催を検討する必要がある。

今後の方向性	☐ 現状のまま 継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☒ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
--------	--------------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--	---

【今後の対応】

現行の体操教室とは別に、フレイルの改善を目的とし、運動・栄養・認知症予防を一体とした教室の開催を目指し、より介護予防とフレイル予防のつながりを強めます。

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	高齢者政策係、地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	------------------

現行計画	基本目標	1	いきいきと活力ある高齢期を過ごすための取組	ページ	66
	施策の柱	(2)	介護予防の推進		
	主な取組	③	介護予防・生活支援サービス ア) 訪問型サービス		
	取組の方向性		・訪問介護 ホームヘルパーによる身体介護（入浴、排せつ、食事等の介助）や生活援助（掃除、洗濯、一般的な調理、買物等）を実施します。 ・訪問型サービスA（基準を緩和したサービス） 緩和した基準により多様な主体が担い手として、生活援助（掃除、洗濯、一般的な調理等）を実施します。 ・訪問型サービスC（短期集中のサービス） 概ね3か月の短期間、保健・医療等の専門職が自宅を訪問し、より日常生活に即した相談支援を実施します。		

【取組の実施状況】

令和6年度は、訪問型サービスを7事業所(市内6、市外1)、訪問型サービスAを1事業所指定しており、訪問型サービスが1,221件、訪問型サービスAが464件の利用がありました。

また、訪問型サービスCでは、対象者3人に栄養士が12回訪問し指導等を行いました。

評価	☐ 順調	☒ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				訪問型サービスAは利用者がいる一方、訪問型サービスCの利用者が少なかったため。

【取組の課題】

訪問型サービスCは利用者が少ないため、実施方法等について検討する必要があります。

今後の方向性	☐ 現状のまま 継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☒ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
--------	--------------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--	---

【今後の対応】

事業の対象となる高齢者に対し、訪問型サービスの利用を勧めるとともに、実施方法等について関係機関と検討を行います。

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	高齢者政策係、地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	------------------

現 行 計 画	基本目標	1	いきいきと活力ある高齢期を過ごすための取組 ～元気に生きがいをもって～	ページ	67
	施策の柱	(2)	介護予防の推進		
	主な取組	③	介護予防・生活支援サービス イ) 通所型サービス		
	取組の方向性		・通所介護 デイサービスセンター等で、日常生活上の支援と機能訓練等を実施します。 ・通所型サービスA（基準を緩和したサービス） 緩和した基準により多様な主体が担い手として、老人福祉センター内のデイサービスで 日常動作訓練や趣味活動等を実施します。 ・通所型サービスC（短期集中のサービス） 概ね3か月の短期間、専門職による集団での機能訓練や栄養相談等を実施します。		

【取組の実施状況】

令和6年度は、通所型サービスを24事業所(市内9、市外15)、通所型サービスAを2事業所指定しており、通所型サービスが2,904件、通所型サービスAが1,289件の利用がありました。

また、通所型サービスCとして、運動機能向上型のはつらつ教室を1事業所、総合型機能向上型のヤシオン教室を1事業所に委託し実施しており、はつらつ教室の利用者は25人、延べ197人、ヤシオン教室の利用者は27人、延べ294人でした。

通所型サービスCの利用期間については、利用者の状態に合わせ、最大6か月（2コース）まで利用可能となり、ヤシオン教室では、6か月利用した方が11人でした。

評価	☐ 順調	☒ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				通所型サービス全体の利用者は増加しており、利用者の身体機能の向上につながったため。

【取組の課題】

通所型サービスCは利用者が少ないため、実施方法等について検討する必要があります。また、短期集中の訓練により機能が改善したあと、通いの場につながっていないため、機能維持を図るための方法について検討が必要です。

今後の方向性	☒ 現状のまま 継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
--------	---	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	---

【今後の対応】

事業の対象となる高齢者に対し、通所型サービスの利用を勧めるとともに、実施方法等について関係機関と検討を行います。

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------

現 行 計 画	基本目標	1	いきいきと活力ある高齢期を過ごすための取組 ～元気に生きがいをもって～	ページ	67
	施策の柱	(2)	介護予防の推進		
	主な取組	③	介護予防・生活支援サービス　ウ) 介護予防ケアマネジメント		
	取組の方向性	地域の様々な資源を活用し、既存の枠組みにとらわれないサービスを提供するため、地域包括支援センター等によるケアプランの作成を実施します。			

【取組の実施状況】

介護予防ケアマネジメントを地域包括支援センターへ委託し実施しました。

令和6年度は、居宅要支援者等 2,811 件のプランに対し、介護予防・生活支援を目的に、その心身の状況等に応じて適切な事業が包括的かつ効率的に提供されるように、専門的視点から必要な援助を行いました。

評価	☒ 順調	☐ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				地域包括支援センターにより、随時、必要な支援を行っているため。

【取組の課題】

特にありません。

今後の方向性	☒ 現状のまま 継 続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
--------	--	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	---

【今後の対応】

今後も、高齢者の状態等に応じて柔軟に対応し、自立に向けた支援を行うため、介護予防ケアマネジメントを実施します。

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	高齢者政策係
-----	-------	-----	--------

現 行 計 画	基本目標	1	いきいきと活力ある高齢期を過ごすための取組	ページ	68
	施策の柱	(3)	高齢者の住まいの支援		
	主な取組	①	軽費老人ホーム		
	取組の方向性	軽費老人ホームは、60歳以上（夫婦で入所する場合はどちらかが60歳以上）で、家庭環境、住宅事情等の理由により、居宅において生活することが困難な人が低額な料金で入所することができ、日常生活上必要な便宜を供与する施設で、利用に当たっては、施設と利用者の契約になります。 軽費老人ホームは、A型（低所得者で身寄りのない人を対象）、B型（家庭環境等により住居生活が困難で、自炊できる程度の健康状態の人を対象）、ケアハウス（高齢等のため独立して生活するには不安のある人を対象）があります。 市内には、ケアハウスが1か所（入居定員50人）整備されており、施設について高齢者等への周知に努めます。			

【取組の実施状況】

市内には、ケアハウスが1か所整備されています。

入居定員は50人で、令和6年度末の入居者数は49人となっています。

評価	☒ 順調	☐ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				令和6年度末の入居者数は、ほぼ満員となっているため。
【取組の課題】 特にありません。				

今後の方向性	☒ 現状のまま 継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合して継続
【今後の対応】 施設について高齢者等に周知し、利用の促進を図ります。					

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	高齢者政策係
-----	-------	-----	--------

現 行 計 画	基本目標	1	いきいきと活力ある高齢期を過ごすための取組	ページ	68
	施策の柱	(3)	高齢者の住まいの支援		
	主な取組	②	有料老人ホーム		
	取組の方向性	有料老人ホームは、入浴・排せつ等の介護の提供、食事の提供、その他日常生活上の便宜としての洗濯・掃除等の家事、健康管理を行う施設で、利用に当たっては、施設と利用者の契約になります。 市内には、介護付き有料老人ホームが7か所（入居定員合計 406 人）整備されており、施設について高齢者等への周知に努めます。			

【取組の実施状況】

市内には、介護付き有料老人ホームが7か所整備されています。

また、令和5年11月に新たに有料老人ホーム1か所（入居定員 38 人）が開所しました。

入居定員の合計は 406 人で、令和6年度末の入居者数は合計 382 人となっています。

評価	■順調	□概ね順調	□遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				市内における施設の整備が進められているため。
【取組の課題】 特にありません。				

今後の方向性	■現状のまま 継続	□休止・廃止	□終了・完了	□見直して継続	□他事業と統合 して継続
【今後の対応】 施設について高齢者等に周知し、利用の促進を図ります。					

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	高齢者政策係
-----	-------	-----	--------

現 行 計 画	基本目標	1	いきいきと活力ある高齢期を過ごすための取組	ページ	68
	施策の柱	(3)	高齢者の住まいの支援		
	主な取組	③	サービス付き高齢者向け住宅		
	取組の方向性	サービス付き高齢者向け住宅は、60歳以上の単身・夫婦世帯が安心して居住できる環境が整えられ、安否確認や生活相談等のサービスを提供する賃貸住宅で、一定の規模、設備の基準が設けられており、利用に当たっては、施設と利用者の契約になります。 市内には、サービス付き高齢者向け住宅が2か所（合計77戸）整備されており、施設について高齢者等への周知に努めます。			

【取組の実施状況】

市内には、サービス付き高齢者向け住宅が2か所（77戸）整備されています。

評価	■順調	□概ね順調	□遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				市内における施設の整備が進められているため。

【取組の課題】

特にありません。

今後の方向性	■現状のまま 継続	□休止・廃止	□終了・完了	□見直して継続	□他事業と統合 して継続
--------	--------------	--------	--------	---------	-----------------

【今後の対応】

施設について高齢者等に周知し、利用の促進を図ります。

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------

現 行 計 画	基本目標	1	いきいきと活力ある高齢期を過ごすための取組	ページ	69
	施策の柱	(3)	高齢者の住まいの支援		
	主な取組	④	養護老人ホーム		
	取組の方向性	養護老人ホームは、65歳以上で、環境上の理由及び経済的理由により、居宅での養護を受けることが困難な人が入所する施設です。 現在、本市には養護老人ホームはなく、対象者については他市町村の施設に入所措置しています。			

【取組の実施状況】

対象者1名が、令和4年度中に死亡により退所となりました。

令和6年度は対象者がいませんでした。

評価	☒ 順調	☐ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				必要に応じて関係機関と連携し、対応していたため。

【取組の課題】

特にありません。

今後の方向性	☒ 現状のまま 継 続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
--------	--	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	---

【今後の対応】

環境上の理由および経済的理由により、居宅での養護を受けることが困難な方がいた場合には、入所措置について検討を行います。

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------

現 行 計 画	基本目標	1	いきいきと活力ある高齢期を過ごすための取組	ページ	69
	施策の柱	(3)	高齢者の住まいの支援		
	主な取組	⑤	高齢者居室等整備資金融資制度		
	取組の方向性	高齢者居室等整備資金融資制度は、高齢者の居室等を増築、改築又は改造するために必要な資金を融資（融資限度額：1件につき200万円、償還期限：10年以内〔無利子〕）する制度です。この制度について周知し、必要な支援に努めます。			

【取組の実施状況】

平成18年度以降新規申請はありませんでしたが、令和3年度に1件の申請がありました。

評価	■順調	□概ね順調	□遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				市の広報紙やホームページ等への掲載により、事業の周知を図り、制度の利用を検討する方への相談対応も適宜行うことができているため。
【取組の課題】 特にありません。				

今後の方向性	■現状のまま 継続	□休止・廃止	□終了・完了	□見直して継続	□他事業と統合 して継続
【今後の対応】 介護保険制度では賄えない改築等についても検討できる制度であるため、必要とする方に知っていただけるよう、市の広報紙やホームページ等への掲載による事業の周知に努めます。					

第 9 期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------

現 行 計 画	基本目標	1	いきいきと活力ある高齢期を過ごすための取組	ページ	69
	施策の柱	(3)	高齢者の住まいの支援		
	主な取組	⑥	高齢者世帯等住み替え住宅家賃助成事業		
	取組の方向性	高齢者世帯等住み替え住宅家賃助成事業は、住宅の取り壊し等により民間賃貸住宅へ転居する 65 歳以上の高齢者世帯に、転居前と転居後の家賃の差額について月額 3 万円を限度に助成を行う制度です。この制度について周知し、必要な支援に努めます。			

【取組の実施状況】

令和 6 年度の利用者は 1 名で、助成額は 7,000 円でした。
 （平成 29 年 9 月から助成開始 助成月額 7,000 円）

評価	☒ 順調	☐ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				事業を必要とする方に対し、適切な給付を実施することができているため。

【取組の課題】

特にありません。

今後の方向性	☒ 現状のまま 継 続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
--------	--	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	---

【今後の対応】

高齢者世帯等住み替え住宅家賃助成事業を必要とする方に知っていただけるよう、市の広報紙やホームページ等への掲載による事業の周知に努めます。

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------

現 行 計 画	基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせるための取組	ページ	70
	施策の柱	(1)	高齢者を支えるつながりづくりの推進		
	主な取組	①	高齢者相談窓口の充実		
	取組の方向性	高齢者が安心して保健・医療・福祉・介護のサービスを利用するためには、いつでも気軽に相談することができる体制が重要であることから、地域包括支援センターを核とした相談体制の充実を図ります。 また、介護保険サービスに関する苦情について、埼玉県や国民健康保険団体連合会等の関係機関と連携を図り、迅速・適切に対応します。			

【取組の実施状況】

地域包括支援センター職員が町会・自治会等に出向き、出前講座を行ったほか、市の広報紙やホームページへの掲載、地域包括支援センターに関するチラシを介護保険料の納付書に同封するなど啓発を行いました。

また、高齢者のワンストップ窓口として、本人・家族や近隣住民、民生委員、医療機関等からの様々な相談に対応し、いつでも気軽に相談できる体制づくりに努めました。

評価	☒ 順調	☐ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				高齢者がいつでも気軽に相談できる体制が整っているため。

【取組の課題】

特にありません。

今後の方向性	☒ 現状のまま 継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
--------	---	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	---

【今後の対応】

今後、高齢者人口の増加が予測されていることから、引き続き高齢者の相談窓口である、地域包括支援センターの周知に努めます。

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------

現 行 計 画	基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせるための取組	ページ	70	
	施策の柱	(1)	高齢者を支えるつながりづくりの推進			
	主な取組	②	地域包括支援センター事業			
	取組の方向性	地域包括支援センターに主任介護支援専門員、社会福祉士、保健師等の専門職を配置し、保健・医療・福祉・介護の相談のほか、消費者被害や虐待相談など、様々な相談に対応し、適切なサービスへつなぎます。 また、地域包括支援センターが中心となり、介護サービス事業者等、医療機関、民生委員・児童委員、ボランティア・NPO等関係者との連携を図るとともに、地域包括支援センターの認知度の向上に向けて普及啓発に努めます。 地域包括支援センターの運営にあたっては、運営上の基本的な考え方や理念、業務推進の指針等を明記した「八潮市地域包括支援センター基本方針・運営方針」に基づき、地域包括支援センター業務を円滑に実施します。 ア) 介護予防支援事業 高齢者が要介護状態等となることをできるだけ防ぎ、要支援状態になってもそれ以上悪化しないよう、個々の状態にあった適切なサービスが包括的かつ効率的に提供されるよう、必要な支援をします。 イ) 総合相談支援業務 関係者とのネットワークを構築するとともに、高齢者等からの相談を受け、地域における適切な保健・医療・福祉・介護のサービス、関係機関又は制度の利用につなげる等の支援をします。 ウ) 権利擁護業務 高齢者が尊厳ある生活を維持し、安心して生活することができるよう、専門的・継続的な視点から、高齢者の権利擁護のために必要な支援をします。 エ) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務 関係機関との連携・協力体制の構築、地域の介護支援専門員の後方支援等をします。				

【取組の実施状況】

ア) 第1号介護予防支援事業

介護保険における予防給付の対象となる要支援者や、介護予防・生活支援サービス事業対象となる要支援者、事業対象者の介護予防サービス計画等を6,346件作成するとともに、適切なサービス等の提供が確保されるよう関係機関との連絡調整等を行いました。

イ) 総合相談支援業務

初期段階での相談対応及び専門的・継続的な相談が12,780件あり、その支援にあたって必要となるネットワークの構築のための会議を249回、出前講座等を95回行いました。

ウ) 権利擁護業務

成年後見制度相談や日常生活自立支援事業相談、消費者被害相談の対応を行い、また、高齢者虐待の相談を延べ35件行いました。

エ) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

医療機関を含めた関係機関とのケア体制の構築、地域の介護支援専門員等の後方支援を行い、介護支援専門員からの相談が209件、サービス事業者からの相談が28件、医療機関からの相談が309件ありました。

評価	■順調	□概ね順調	□遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				地域包括支援センターが中心となり、高齢者支援に対して迅速な対応を行ったため。

【取組の課題】

高齢者支援の対応力をさらに向上させるために、地域包括支援センターの機能強化をする必要があります。

今後の方向性	■現状のまま 継続	□休止・廃止	□終了・完了	□見直して継続	□他事業と統合 して継続
--------	--------------	--------	--------	---------	-----------------

【今後の対応】

地域包括支援センターの機能強化のため、職員向けの研修会を開催するとともに、引き続き相談体制の充実や関係機関との連携に努めます。

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------

現 行 計 画	基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせるための取組	ページ	71
	施策の柱	(1)	高齢者を支えるつながりづくりの推進		
	主な取組	③	地域包括支援センター運営協議会		
	取組の方向性	地域包括支援センターの適切、公平かつ中立な運営を図るため、保健・医療・福祉・介護に関係する団体の代表、知識経験者及び公募による市民から構成される「地域包括支援センター運営協議会」を開催し、各業務の評価等を行います。			

【取組の実施状況】

10人の委員からなる「地域包括支援センター運営協議会」を2回開催し、地域包括支援センターの運営等に関する審議を行いました。

令和6年度4月1日より、介護保険法施行規則の第140条66項の一部が改正され、地域包括支援センター職員配置の柔軟化について「八潮市地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例」の改正を行いました。

評価	☒ 順調	☐ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				年間計画に基づき運営協議会を開催し、地域包括支援センターの運営状況の報告や、委員からの意見聴取ができています。

【取組の課題】

多職種からなる運営協議会委員としており、委員から様々な意見聴取ができていますが、発言する委員に偏りがあるため、すべての委員から意見をいただけるよう進める必要があります。

今後の方向性	☒ 現状のまま 継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
--------	---	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	---

【今後の対応】

地域包括支援センターの適切・公平な運営を図るため、地域包括支援センター運営協議会を実施し、すべての委員から意見をいただけるよう協議会を運営します。

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------

現 行 計 画	基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせるための取組	ページ	71
	施策の柱	(1)	高齢者を支えるつながりづくりの推進		
	主な取組	④	地域ケア会議		
	取組の方向性		要介護状態等の予防又は重度化防止を推進するとともに、高齢者個人への支援の充実と、それを支える社会基盤を整備するため、「地域ケア会議」を設置します。 ア) 地域ケア推進会議 自立支援型地域ケア会議や、地域ケア個別会議等で抽出された地域課題を整理し、政策形成に向けた課題の整理、検証等を実施します（月1回開催）。 イ) 自立支援型地域ケア会議 自立支援・重度化防止の観点に基づき、多職種でケアプランを検討することにより、個別課題の解決、地域課題の抽出、介護支援専門員や地域包括支援センター職員のケアマネジメントの支援を実施します（月1回開催）。 ウ) 地域ケア個別会議 市内各圏域で、適切な支援の介入が困難な事例について、各地域包括支援センターが主体となり、関係機関と連携の上、問題解決に向けた対応策や支援方針に関する検討をします（随時開催）。 エ) 専門職種別連絡会議 各地域包括支援センターの主任介護支援専門員、社会福祉士、保健師等の専門職ごとに情報を共有し、それぞれの専門性に特化した課題等の解決に向けた検討をします（各々月1回開催）。		

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
検討ケース長期目標達成率（％）	72.0	73.0	75.0	76.0
	94.6	81.6	82.8	75.9

【取組の実施状況】

ア) 地域ケア推進会議

計11回開催し、市、地域包括支援センター、生活支援コーディネーターが、延87人参加しました。

イ) 自立支援型地域ケア会議

計12回（うち1回書面）開催し、助言者、地域包括支援センター、在宅医療サポートセンター、生活支援コーディネーター、介護サービス提供事業所等が延200人参加し、24件のケアプランを検討しました。

また、ケアプランを検討してから6か月後と12か月後に、目標を達成できているか58件のモニタリングをしました。

ウ) 地域ケア個別会議

適切な支援の介入が困難な事例について、各地域包括支援センターが、民生委員・児童委員、町会自治会、介護保険サービス事業者等の関係者を召集し、課題解決に向けた対応策や支援方針の検討を2回行いました。

エ) 専門職種別連絡会議

各地域包括支援センターの主任介護支援専門員、社会福祉士、保健師等の専門職ごとに年間11回、合計33回行いました。

評価	☐ 順調	☒ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				地域ケア会議を適切に活用することにより、自立支援・重度化防止に向けたケアマネジメント支援や困難事例の解決につなげることができたため。
【取組の課題】 自立支援型地域ケア会議を開催する中で、自立支援・重度化防止を意識したサービス提供が、介護支援専門員だけでなく、介護サービス事業者にも十分に浸透していないことが課題です。				

今後の方向性	☒ 現状のまま 継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合して継続
【今後の対応】 自立支援型地域ケア会議において自立支援・重度化防止を意識したサービス提供を行っていただけるよう、引き続き、要支援者等の機能評価についての研修会を実施し、会議で検討されたケースの事前事後の機能評価を、同じ基準で行うことが出来るよう進めます。					

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------

現 行 計 画	基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせるための取組	ページ	72
	施策の柱	(1)	高齢者を支えるつながりづくりの推進		
	主な取組	⑤	生活支援体制の充実		
	取組の方向性		ひとり暮らし高齢者や夫婦2人暮らし高齢者、認知症の高齢者が増加する中、医療・介護のサービス提供だけではなく、民間企業、NPO法人、ボランティア等の生活支援サービスを担う事業主体と連携しながら、日常生活を支えていく生活支援サービスの体制整備を進めるため、「生活支援コーディネーター」を配置します。また、関係団体等と定期的に情報を共有し、生活支援サービスの充実・強化を図るため、協議体を設置します。 身の回りの支援については、移送サービスや外出同行、配食、掃除・洗濯、サロン等の定期的な通いの場等のニーズが高いため、第2層協議体で圏域ごとに検討し、試行的に実施している「買い物バス」を、他の圏域でも実施できるよう、生活支援コーディネーターと連携して取り組みます。 担い手の育成や支え合いの仕組みについては、生活支援コーディネーターを中心に取り組みます。		

【取組の実施状況】

市全域を範囲とする第1層生活支援コーディネーターの配置に加え、日常生活圏域を範囲とする第2層の生活支援コーディネーターを各地域包括支援センターに1名配置し、情報共有や検討の場として生活支援コーディネーター連絡会を年9回開催しました。

また、市、第1層生活支援コーディネーター、第2層生活支援コーディネーター、八潮市社会福祉協議会、八潮市シルバー人材センター、社会福祉課、市民協働推進課で第1層協議体を年3回開催しました。協議体では、関係団体の活動報告や情報交換を行うことにより、第1層生活支援コーディネーターの活動を支援することができました。

第2層協議体名称		構成員数	開催回数	実施内容
東部	やしおの東サポート隊	7人	12回	社会福祉法人のバスを利用した「買い物バス」の企画・運営
西部	にこっとよりあい会	11人	12回	地域のつながりを強化し、助け合える地域づくりの推進
南部	困（こま）ちゃん気かけ隊	9人	12回	集いの場の立ち上げ支援・ちょっとした困りごと解決支援活動
北部	ほくぶ花しい隊	8人	12回	電話による会話を通して、人や地域とつながる孤立防止の支援

地域住民への事業の普及啓発として11月29日（メセナ・アネックス）、1月25日（やすらぎ）に「みんなで支え合う生活支援づくりフォーラム」を開催し、合計106人の市民が参加しました。各圏域で活動している第2層メンバーの皆さんの活動報告とグループワークを行いました。

評価	☐ 順調	☐ 概ね順調	☒ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				第2層協議体のうち、1か所で実施している「買い物バス」を他の圏域でも実施できるよう検討を重ねてきたが難しく、実施に至っていないため。

【取組の課題】

協議体で検討している地域課題について、課題解決に向けた対応につなげていく必要があります。

今後の方向性	☐ 現状のまま 継 続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☒ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
【今後の対応】 住民主体の互助の取り組み等を進めるため、さらに生活支援体制を住民へ周知する必要があります。助けあい・支え合いの地域づくりを進めていくため、市民向けフォーラムの開催や、市広報紙やホームページに事業に関する記事を掲載し、普及啓発に努めます。 また、第2層の取組が他地域でも活かせるよう、生活支援コーディネーター連絡会で働きかけ、高齢者の生活支援体制の構築に努めるとともに、内容の見直しを行いながら、継続して活動できるよう実施方法等について検討します。					

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------

現 行 計 画	基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせるための取組	ページ	73
	施策の柱	(2)	地域で見守る高齢者支援体制の推進		
	主な取組	①	高齢者の見守り体制の充実		
	取組の方向性	地域を巡回している各団体や事業所、又は高齢者が立ち寄る事業所の協力のもと、日ごろの活動の中で高齢者を見守り、気になる高齢者を見かけた場合に市や地域包括支援センターに連絡してもらうことにより高齢者への支援につなげる「高齢者支援ネットワーク」の普及啓発に努め、事業の充実を図ります。			

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
協力事業者数（件）	190	200	210	220
	185	185	179	167

【取組の実施状況】

協力事業者に対して、高齢者支援ネットワークの役割や認知症に関する取組を記載した「ネットワークだより」を年2回作成し、併せて登録情報の再確認を行いました。

評価	■ 順調	□ 概ね順調	□ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				ネットワーク体制の充実に向けて、関係者へ情報提供を行うことができたため。
【取組の課題】 特にありません。				

今後の方向性	☒ 現状のまま 継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合して継続
【今後の対応】 地域の見守り体制の充実や、高齢者支援ネットワークの協力機関の機能強化を図るために、ネットワークだよりの作成や高齢者支援ネットワーク連絡会を開催し、情報の共有や課題の検討等を行います。					

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------

現 行 計 画	基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせるための取組	ページ	73
	施策の柱	(2)	地域で見守る高齢者支援体制の推進		
	主な取組	②	高齢者在宅福祉サービス ア) 救急医療情報キット配布事業		
	取組の方向性		持病やかかりつけの医療機関等の医療情報をもとに、救急隊員が迅速で適切な救急対応を行うため、ひとり暮らし高齢者等に救急医療情報キットを配布します。		

申請理由(年度末実績)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
ひとり暮らし高齢者	576	646	555	494
ひとり暮らし障がい者	8	9	9	9
高齢者世帯	147	158	144	128
日中独居	57	63	51	54
その他(同居家族が障がい者等)	29	29	25	25
合計	817	905	784	710

【取組の実施状況】

ひとり暮らし高齢者等を対象に救急医療情報キットを配布し、配布者の情報を草加八潮消防組合に事前に提供しています。

評価	☒ 順調	☐ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				必要な方に対して配布することができているため。
【取組の課題】 救急医療キット内の医療情報の内容が古くなっていることがあるため、定期的に見直しをする必要があります。				

今後の方向性	☒ 現状のまま 継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
【今後の対応】 救急医療キット内の医療情報の内容を定期的に見直しするため、民生委員や地域包括支援センター、介護支援専門員等へ協力していただくよう会議等で依頼します。また、申請から一定期間が経過している方に対して、内容更新の案内を発送します。 救急医療キットを必要とする方に対して適切に配布できるよう、市の広報紙やホームページ等への掲載による事業の周知に努めます。					

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------

現行計画	基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせるための取組	ページ	73
	施策の柱	(2)	地域で見守る高齢者支援体制の推進		
	主な取組	②	高齢者在宅福祉サービス イ) 緊急時通報システム事業		
	取組の方向性	急病等の緊急時に 24 時間体制で通報センターに通報でき、また高齢者からの相談に随時応じるため、虚弱なひとり暮らし高齢者等を対象に、緊急通報装置を貸与します。			

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
設置台数(台)	295	262	253	225
通報件数(件)	323	213	173	199
内訳) 救急車出動	39	31	26	30
生活相談	78	48	44	68
誤報	206	134	103	101
安否確認数(件)	2,877	2,688	2,513	2,260

【取組の実施状況】

比較的虚弱なひとり暮らし高齢者等を対象に、緊急通報端末機の貸与を行い、月1回受付センターが利用者の安否確認を行っています。

評価	■順調	□概ね順調	□遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				事業実施により、急病時の迅速な救急対応につなげることができているため。
【取組の課題】 特にありません。				

今後の方向性	■現状のまま 継続	□休止・廃止	□終了・完了	□見直して継続	□他事業と統合 して継続
【今後の対応】 今後、ひとり暮らし高齢者が増加することが見込まれているため、緊急時通報システムを必要とする方に対して貸与できるよう、市の広報紙やホームページ等への掲載による事業の周知に努めます。					

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------

現行計画	基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせるための取組	ページ	73
	施策の柱	(2)	地域で見守る高齢者支援体制の推進		
	主な取組	②	高齢者在宅福祉サービス ウ) 紙おむつ給付事業		
	取組の方向性	常時寝たきり又は重度の認知症の状態にあり常に排せつの介助を必要とする高齢者やその家族の負担を軽減するため、低所得高齢者を対象に、紙おむつを給付します。			

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
登録者数 3月末(人)	183	190	154	175
内訳) 寝たきり状態	66	71	57	62
重度の認知症	48	45	34	33
その他疾病	69	74	63	80
給付件数(件)	1,929	1,673	1,568	1,444

【取組の実施状況】

令和4年7月給付分から対象要件を変更して、紙おむつを給付しました。

紙おむつの配達は薬剤師会に委託し、配達に併せて利用者の健康相談も行っており、経過観察が必要な家庭の情報を共有する等の協力体制を取っています。

評価	■順調	□概ね順調	□遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				サービスを必要とする方に対して適切に給付を行うことができているため。
【取組の課題】 特にありません。				

今後の方向性	■現状のまま 継続	□休止・廃止	□終了・完了	□見直して継続	□他事業と統合して継続
【今後の対応】 紙おむつ給付事業が継続できるよう随時見直しを図るとともに、必要とする方に適切に給付できるよう、市の広報紙やホームページ等への掲載による事業の周知に努めます。					

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------

現行計画	基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせるための取組	ページ	74
	施策の柱	(2)	地域で見守る高齢者支援体制の推進		
	主な取組	②	高齢者在宅福祉サービス エ) 訪問理美容サービス事業		
	取組の方向性		常時寝たきり状態の高齢者やその家族の負担を軽減するため、低所得高齢者を対象に、理容師又は美容師が自宅に訪問し、カット等のサービスを提供します。		

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用券交付者数(人)		51	51	23	31
延べ利用枚数(枚)		70	66	50	49
内訳	理容	45	36	23	19
	美容	25	30	27	30
【取組の実施状況】 令和4年7月給付分から対象要件を変更して、福祉理美容券を交付しました。					

評価	■ 順調	□ 概ね順調	□ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				サービスを必要とする方に対して適切に提供することができているため。
【取組の課題】 特にありません。				

今後の方向性	■ 現状のまま 継続	□ 休止・廃止	□ 終了・完了	□ 見直して継続	□ 他事業と統合 して継続
【今後の対応】 訪問理美容サービス事業が継続できるよう随時見直しを図るとともに、必要とする方に適切に提供できるよう、市の広報紙やホームページ等への掲載による事業の周知に努めます。					

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------

現 行 計 画	基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせるための取組	ページ	74
	施策の柱	(2)	地域で見守る高齢者支援体制の推進		
	主な取組	②	高齢者在宅福祉サービス オ) 日常生活用具給付等事業		
	取組の方向性	日常生活を営むのに必要な便宜を図るため、ひとり暮らし高齢者等に対し、火災警報器、自動消火器、電磁調理器の給付や、電話加入権の貸与をします。			

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
給付数(件)	1	1	0	1
内訳)電磁調理器	1	1	0	1
火災警報器	0	0	0	0
自動消火器	0	0	0	0
老人電話(加入権)	0	0	0	0

【取組の実施状況】

電磁調理器の給付を1件、行いました。

給付が可能な日常生活用具は老人福祉法で定められており、また、給付に際しては所得制限があるため、給付数は数件です。

評価	■順調	□概ね順調	□遅れ	判断理由
順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている) 概ね順調(最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調) 遅れ(このままでは最終目標の達成が難しい)				サービスを必要とする方に対して適切に給付することができているため。

【取組の課題】

特にありません。

今後の方向性	■現状のまま 継続	□休止・廃止	□終了・完了	□見直して継続	□他事業と統合 して継続
--------	--------------	--------	--------	---------	-----------------

【今後の対応】

日常生活用具給付等事業を必要とする方に適切に給付できるよう、市の広報紙やホームページ等への掲載による事業の周知に努めます。

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------

現行計画	基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせるための取組	ページ	74
	施策の柱	(2)	地域で見守る高齢者支援体制の推進		
	主な取組	②	高齢者在宅福祉サービス カ) 配食・安否確認サービス事業		
	取組の方向性	心身機能の低下等のあるひとり暮らし高齢者等に対し、食事を提供するとともに安否確認を行うため、バランスの取れた普通食や調整食の配達と見守りを、最大週7日実施します。			

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
登録者数(人)	174	145	127	140
利用者数 3月末(人)	108	81	68	99
調整食利用者数(人)	22	22	10	14
配食数(食)	16,725	14,807	12,896	12,042
うち昼食(食)	7,897	7,173	5,477	5,653
うち夕食(食)	8,828	7,634	7,419	6,389
不在連絡件数(件)	6	2	2	0

【取組の実施状況】

ひとり暮らしの高齢者等で、食事の確保が困難かつ安否確認が必要な方を対象に、食事の配達及び利用者の安否確認を行いました。

評価	■順調	□概ね順調	□遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				事業を必要とする方に対し、適切に給付を実施することができているため。
【取組の課題】 特にありません。				

今後の方向性	■現状のまま継続	□休止・廃止	□終了・完了	□見直して継続	□他事業と統合して継続
【今後の対応】 配食・安否確認サービスを必要とする方に適切に給付できるよう、市の広報紙やホームページ等による事業の周知に努めます。					

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------

現 行 計 画	基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせるための取組	ページ	74
	施策の柱	(2)	地域で見守る高齢者支援体制の推進		
	主な取組	②	高齢者在宅福祉サービス キ) 家具転倒防止器具等取付事業		
	取組の方向性		地震等による家具の転倒を防ぐため、転倒防止に有効な器具を、1世帯につき3棟まで取り付けます。		

【取組の実施状況】				
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
延べ申請件数（件）	1	1	0	2
取付家具数（棟）	3	3	0	5
市で行う家具転倒防止器具等取付事業は非課税世帯等が対象となりますが、対象外の方には八潮市シルバー人材センターで行う自費での取付を案内しています。				

評価	■順調	□概ね順調	□遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				サービスを必要とする方に対して適切に実施することができているため。
【取組の課題】 特にありません。				

今後の方向性	■現状のまま 継続	□休止・廃止	□終了・完了	□見直して継続	□他事業と統合して継続
【今後の対応】 家具転倒防止器具等取付事業を必要とする方に適切に給付できるよう、市の広報紙やホームページ等への掲載による事業の周知に努めます。					

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------

現 行 計 画	基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせるための取組	ページ	74
	施策の柱	(2)	地域で見守る高齢者支援体制の推進		
	主な取組	③	高齢者の権利擁護支援		
	取組の方向性		高齢者が尊厳を保ち、地域で安心して生活できるよう、成年後見制度の活用促進や高齢者虐待への対応、消費者被害の防止など、権利擁護施策を推進します。 ア) 成年後見制度の利用促進 認知症等で判断能力が低下している高齢者の権利や財産を守るため、成年後見センターと連携して制度の普及啓発に努めます。申立人のいない高齢者には「市長申立て」を行うとともに、費用負担が困難な場合は、助成をします。 イ) 高齢者虐待防止対策の推進 高齢者虐待防止の普及啓発を行うとともに、日ごろから高齢者を支援している介護支援専門員、介護サービス事業者等に「高齢者虐待防止・早期発見マニュアル」を配布し、高齢者虐待の未然防止、発生後の適切かつ速やかな対応が行えるよう周知します。家族等からの虐待により、高齢者を老人福祉施設等で保護することが必要と判断された場合には、関係機関と連携を図り、速やかに対応します。これらの取組を通して、養護者（家族等）による高齢者虐待及び要介護施設従事者等による高齢者虐待の双方について、防止対策に努めます。 ウ) 消費者被害の防止 高齢者の消費者被害防止のため、高齢者と接している周囲の人が早い段階で気づき、消費生活相談窓口等につなぐことができるよう、普及啓発や関係機関との連携を図ります。		

【取組の実施状況】

ア) 成年後見制度の利用促進

地域包括支援センターの社会福祉士が中心となり、地域で権利擁護を必要とする認知症高齢者の情報を共有するとともに、広報紙等による普及啓発を行いました。また、申立人のいない高齢者に対し、成年後見制度における市長申立てを1件行いました。

イ) 高齢者虐待防止対策の推進

虐待が疑われるケースについては、「高齢者虐待防止・早期発見マニュアル」に基づき、速やかに対応しました。

ウ) 消費者被害の防止

高齢者の消費者被害が疑われた場合は、消費生活相談窓口等につなぎ、速やかに対応しました。

評価	■順調	□概ね順調	□遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				権利擁護を必要とする高齢者の情報を地域包括支援センターと共有し、早期に状況に応じた支援を行ったため。

【取組の課題】

成年後見制度の活用促進や高齢者虐待への支援体制について、積極的に市民への情報提供を行う必要があります。

今後の方向性	☒ 現状のまま 継 続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
【今後の対応】 成年後見制度の活用促進や高齢者虐待への早期発見など、状況に応じた支援ができるよう、市の広報紙やホームページ、チラシを活用して周知を行います。					

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	高齢者政策係
-----	-------	-----	--------

現 行 計 画	基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせるための取組	ページ	76
	施策の柱	(3)	社会福祉協議会との連携		
	主な取組	①	生涯学習活動の啓発事業＜社会福祉協議会＞		
	取組の方向性		元気で活力のある高齢者が、これまでの多様な社会経験や能力を活かせる機会、また生きがいがづくりとして生涯学習の機会を充実することにより、高齢者の自主的な活動や、学習意欲の向上を図ります。 また、社会福祉協議会において、退職後等の人生を有意義に過ごすことができるよう地域活動や生きがいがづくりについて考える「セカンドライフ講座」や、市民交流文化事業等を実施します。		

【取組の実施状況】

○高齢者の自主的活動の支援

老人福祉センター寿楽荘では「八潮市寿大学」を令和6年11月8日から令和7年1月17日までの間に講義を10日間開催し、男性7人、女性11人の計18人が卒業しました。講義内容は、八潮市社会福祉協議会について、交通安全教育、楽しく健康ウォーキング、障がいの理解と福祉用具の使い方、虐待のない社会を目指して、フレイル（虚弱）予防についてなどでした。

○生涯学習活動の啓発

各団体や関係機関等において、文化・教育・スポーツ等の各種講座等を実施しました。

① 「きらめきクラブ八潮」では、草加市の老人クラブと交流ゲートボール大会を、令和6年9月26日に老人福祉センターすえひろ荘で開催しました。

「きらめきクラブ八潮」では、第38回グラウンドゴルフ大会を令和6年5月16日に、第39回を令和6年9月12日に開催しました。

② 社会福祉協議会では、セカンドライフ講座を令和7年1月9日から1月30日までに4回開催しました。

評価	■順調	□概ね順調	□遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				高齢者の自主的な活動や、学習意欲の向上を図るため、各種講義やイベントを予定どおり実施できたため。

【取組の課題】

八潮市寿大学の講義内容について、参加する方の学習意欲が向上されるよう、社会情勢の変化に応じた講義内容を定期的に見直します。

今後の方向性	■現状のまま 継続	□休止・廃止	□終了・完了	□見直して継続	□他事業と統合 して継続
【今後の対応】 高齢者が住み慣れた地域で、その有する能力に応じ、生きがいを持って安心して暮らしていけるよう、社会福祉協議会と連携を図り、事業の利用を促進します。					

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	社会福祉協議会	記入者	地域福祉係
-----	---------	-----	-------

現 行 計 画	基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせるための取組	ページ	76
	施策の柱	(3)	社会福祉協議会との連携		
	主な取組	②	各種福祉事業＜社会福祉協議会＞ ア) ふれあいサロン		
	取組の方向性		ひとり暮らしや家に閉じこもりがちな高齢者、子育て中の親子等の仲間づくりや生きがいきづくりを目的に、ふれあいサロンの普及を促進します。 また、会食やおしゃべり等によるふれあいや交流の場をつくる、住民による自主的・主体的な地域活動であるふれあいサロンについて、実施支部（町会・自治会）に「支部モデル事業補助金」を交付し、活動を支援します。		

【取組の実施状況】

「ふれあいサロン」はひとり暮らしや家に閉じこもりがちな高齢者、子育て中の親子等が地域の中でいきいきと暮らしていけるよう仲間づくりや生きがいきづくりを行う活動です。

令和6年度は、全44支部（町会・自治会）あるうちの25支部が実施し、延べ196回開催しました。

評価	■順調	□概ね順調	□遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				新たにふれあいサロン実施を検討する支部からの問い合わせがあるため。

【取組の課題】

全ての支部でのふれあいサロン実施に至っていません。

今後の方向性	■現状のまま 継続	□休止・廃止	□終了・完了	□見直して継続	□他事業と統合 して継続
--------	--------------	--------	--------	---------	-----------------

【今後の対応】

支部（町会・自治会）が安心してふれあいサロンを実施できるように、ふれあいサロン継続実施に向けての相談に応じ、ふれあいサロンに関心のある支部に対して、ふれあいサロンの立ち上げ支援をします。

今後もサロンなどを通じて、高齢者等の心身の健康を維持・増進し、社会参加を促すために交流事業の普及を図ります。

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	社会福祉協議会	記入者	地域福祉係
-----	---------	-----	-------

現 行 計 画	基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせるための取組	ページ	76
	施策の柱	(3)	社会福祉協議会との連携		
	主な取組	②	各種福祉事業＜社会福祉協議会＞ イ) ひとり暮らし高齢者の見守り活動		
	取組の方向性		ひとり暮らしの高齢者が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、地域の民生委員・児童委員、ボランティア等の協力により、希望者に対し4つの見守り活動を実施します。 a 民生委員カレンダー配付活動 民生委員・児童委員が、見守りカレンダーを月1回配付し、見守り活動を実施します。 b 近隣たすけあい見守り活動 見守り協力員が、日常生活を送る中で、利用者の見守り活動を実施します。 c 乳製品配達サービス 乳製品配達業者が、乳製品を利用者宅へ週1回決まった曜日に配達し、安否確認と声かけ活動を実施します。 d 友愛電話活動 ボランティアが、電話による安否確認を週1回実施します。		

実績（利用者数）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見守り活動(人)	520	502	496	478
民生委員カレンダー配付活動（人）	464	443	430	428
近隣たすけあい見守り活動（人）	172	157	158	147
乳製品配達サービス（人）	179	178	185	192
友愛電話活動（人）	87	87	87	79

【取組の実施状況】

65歳以上のひとり暮らしで見守りを希望する高齢者に対し、見守り活動を実施しました。地域包括支援センターや介護保険事業所等から、見守りを希望する連絡をいただくことも多くなり、関係機関と連携しながら、ひとり暮らし高齢者が安心して在宅生活を継続できるように事業を実施しました。

評価	■順調	□概ね順調	□遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				各種見守り活動も機能しているため。

【取組の課題】

見守り活動の利用者で、介護保険事業所等の関わりがなく、体調の急変等で安否確認のための訪問が必要なケースや、認知症や精神疾患等が疑われるが、介護保険事業所等の関わりなく、見守っているケースがあります。

今後の方向性	■現状のまま 継続	□休止・廃止	□終了・完了	□見直して継続	□他事業と統合 して継続
--------	--------------	--------	--------	---------	-----------------

【今後の対応】

今後も、必要な方に見守り活動を利用いただけるよう周知・啓発を図りながら、地域包括支援センター等の関係機関と連携の下、見守り活動に努めます。

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	社会福祉協議会	記入者	身体障害者福祉センター係
-----	---------	-----	--------------

現 行 計 画	基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせるための取組	ページ	77
	施策の柱	(3)	社会福祉協議会との連携		
	主な取組	②	各種福祉事業＜社会福祉協議会＞　ウ）福祉車両・車いすの貸出事業		
	取組の方向性	日常生活を営む上で移動が困難な方に、日常生活の改善を図るため、福祉車両（車いすのまま乗降できる自動車）や車いすの貸出事業の周知を図り、実施します。			

【取組の実施状況】

日常生活を営む上で移動が困難な方に、日常生活の改善を図るため、福祉車両や車いすの貸し出しを行いました。
福祉車両 24 件、車イス 147 件

評価	☒ 順調	☐ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				申請者に対し、適切に貸出を行っているため。

【取組の課題】

利用希望者の増加もあり、車椅子の在庫不足もみられる時がある。台数増加の検討も必要です。

今後の方向性	☒ 現状のまま 継 続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
--------	--	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	---

【今後の対応】

より多くの方に制度を知っていただけるよう、引き続き周知を図ります。

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	社会福祉協議会	記入者	事業係
-----	---------	-----	-----

現 行 計 画	基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせるための取組	ページ	77
	施策の柱	(3)	社会福祉協議会との連携		
	主な取組	②	各種福祉事業＜社会福祉協議会＞ エ)生活福祉資金貸付事業		
	取組の方向性	低所得世帯・障がい者世帯・高齢者世帯を対象として、民生委員・児童委員の援助を伴いながら、無利子又は低利で福祉用具等の購入や介護サービス等を受けるために必要な経費など、生活に必要な各種資金を貸し付け、世帯の自立に向けて支援します。			

【取組の実施状況】

市の自立相談支援窓口等の他機関との連携を図ることにより、貸付以外も含め、総合的に支援することができました。
相談件数 16 件、貸付件数 3 件

評価	☒ 順調	☐ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				特例貸付の債権管理業務と並行し、通常の貸付希望者に対しても、適切に相談・貸付業務を行うことができたため。

【取組の課題】

関係機関相互の制度の理解を深め、よりスムーズな対応を進めていく必要があります。

今後の方向性	☒ 現状のまま 継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
--------	---	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	---

【今後の対応】

今後も、関係機関と連携を密にしながら、総合的な支援を行います。

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	社会福祉協議会	記入者	事業係
-----	---------	-----	-----

現 行 計 画	基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせるための取組	ページ	77
	施策の柱	(3)	社会福祉協議会との連携		
	主な取組	②	各種福祉事業＜社会福祉協議会＞ オ) リバースモーゲージ（不動産担保型生活支援）		
	取組の方向性		ひとり暮らし高齢者の増加等により事業利用者の増加が見込まれることから、現に居住中の不動産（土地、建物）を所有している高齢者が、将来にわたりその住居に住み続けることを希望する場合に、その不動産を担保にして生活資金の貸し付けを行う「リバースモーゲージ」について、事業の周知を図り、実施します。		

【取組の実施状況】

貸付者、貸付終了者ともに定期的な状況確認を行っています。令和7年3月末現在の貸付者は1人で、貸付終了者についても、不動産を担保にして生活資金を貸し付けていたことから生活状況の確認を行っています。

評価	☒ 順調	☐ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				申請者に対して、適切に貸付を行えたため。

【取組の課題】

貸付終了者が、貯蓄が尽きるタイミングで生活保護へ移行する必要があるケースが多くあり、より注意して状況確認を行う必要があります。

今後の方向性	☒ 現状のまま 継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
--------	---	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	---

【今後の対応】

今後も、貸付者、貸付終了者ともに定期的な状況確認を行います。

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	社会福祉協議会	記入者	事業係
-----	---------	-----	-----

現 行 計 画	基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせるための取組	ページ	77
	施策の柱	(3)	社会福祉協議会との連携		
	主な取組	②	各種福祉事業＜社会福祉協議会＞ カ) 福祉サービス利用援助事業		
	取組の方向性	認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等で判断能力が不十分な人が地域において自立した生活を送ることができるよう、利用者との契約に基づき福祉サービスの利用援助や日常の金銭管理、書類預かり等の支援を行う福祉サービス利用援助事業（あんしんサポートねっと）について、事業の周知を図り、実施します。			

【取組の実施状況】

生活支援員5名を配置し、支援を行っています。契約者総数は52名で、令和5年度から3名増加しました。新規契約者は16名でした。生活支援員がつけられないケースについては、社会福祉協議会常勤職員が専門員として対応しています。

また、サービス担当者会議への出席、依頼があった利用希望者への訪問説明などを適宜行うとともに、社協広報紙へ事業の案内を掲載し周知を図るほか、事業紹介のチラシを作成し、近隣市含め介護保険関係施設や居宅介護支援事業所、病院、金融機関等を訪問して周知を図りました。

評価	☒ 順調	☐ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				契約者数は増加し事業の充実が図れたため。 一層の事業周知を行うことができたため。

【取組の課題】

契約者数の増加もあり生活支援員の不足は続いています。市民後見人養成講座の修了者の活用を検討していきます。

今後の方向性	☒ 現状のまま 継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
--------	---	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	---

【今後の対応】

引き続き、研修受講者を中心に生活支援員の確保に努めるとともに、既存の生活支援員との担当の調整を行います。

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	社会福祉協議会	記入者	事業係
-----	---------	-----	-----

現 行 計 画	基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせるための取組	ページ	78
	施策の柱	(3)	社会福祉協議会との連携		
	主な取組	②	各種福祉事業＜社会福祉協議会＞　キ) 成年後見センター事業		
	取組の方向性	判断能力の不十分な方々が地域で安心して生活できるよう、「成年後見制度センター」を設置し、成年後見制度に関する相談及び周知・啓発を行うとともに、法人後見事業、市民後見人養成事業等の権利擁護関連事業を実施します。			

【取組の実施状況】

成年後見センターでの相談対応件数は100件でした。

周知・啓発のため、成年後見センターのチラシを作成し、市内介護保険関係施設や居宅介護支援事業所、病院、金融機関等を訪問して周知を図りました。

法人後見事業として、保佐4件を受任しています。

市民後見人養成事業として、講演会を実施し70名の参加がありました。また、市民後見人養成講座実践編は9人の参加がありました。

その他、成年後見センターを、専門職による専門的助言等の支援の確保や専門職団体及び関係機関の連携・協力体制を強化するための協議会の事務局など、地域連携の仕組みのコーディネートを担当中核機関として位置づけ、八潮市地域連携ネットワーク協議会を年2回実施しました。

評価	☒ 順調	☐ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				滞りなく事業実施できている。

【取組の課題】

市民後見人養成講座修了者の活用について課題があります。

今後の方向性	☒ 現状のまま 継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
--------	---	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	---

【今後の対応】

市民後見人養成講座修了者の活用について検討していきます。

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------

現行計画	基本目標	3	認知症にやさしいまちづくりのための取組	ページ	79
	施策の柱	(1)	認知症等に関する啓発の推進		
	主な取組	①	認知症等に関する啓発		
	取組の方向性	認知症や脳卒中の後遺症等による高次脳機能障がいの普及啓発のため、市民向け講演会の開催、世界アルツハイマー月間におけるパネル等の展示、認知症安心ガイド（認知症ケアパス）の活用および認知症に関するパンフレット等を配布します。			

【取り組みの実施状況】

9月のアルツハイマー月間に合わせて、9月26日から10月2日まで市役所1階多目的スペースにて認知症に関する啓発活動として、パネル展示やミニ相談会を行うとともに、11月16日に認知症に関する市民向け講演会「映画 ～オレンジランプ～上映会」を開催し、67人が参加しました。

評価	☒ 順調	☐ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				認知症に関するパネル展示や啓発品の配布等を行い、市民に向けて認知症に関する正しい知識の啓発を行うことができたため。

【取り組みの課題】

認知症について正しく理解していただくため、更なる啓発活動の場を増やしていく必要があります。

今後の方向性	☒ 現状のまま 継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
--------	---	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	---

【今後の対応】

今後も、アルツハイマー月間や各種イベント会場等で認知症地域支援推進員が主体となり、市民へ認知症に関する普及啓発活動を行い、認知症に関する正しい知識と理解の促進を図ります。

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------

現行計画	基本目標	3	認知症にやさしいまちづくりのための取組	ページ	79
	施策の柱	(1)	認知症等に関する啓発の推進		
	主な取組	②	認知症サポーターの養成と活動支援		
	取組の方向性	認知症について正しく理解し、当事者やその家族を見守り、支援する認知症サポーターを養成するため、認知症サポーター養成講座を小中学校や市民、民間企業向けに開催します。 また、認知症サポーターの活躍の場を広げられるよう、認知症サポーターステップアップ講座を開催します。			

上段：目標値、下段：実績値

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
認知症サポーター 養成数(人)	5,400	5,600	5,800	6,000
(平成20年からの累計)	5,135	5,446	5,619	5,782

【取組の実施状況】

地域や職域において認知症の方と家族を支える認知症サポーター養成講座を年6回実施し、163人が受講しました。平成20年から累計で5,782人が認知症サポーターとなっています。

評価	☐ 順調	☒ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				認知症サポーター養成講座の開催回数が思うように伸びなかったが、認知症サポーター養成数は目標値に近い数となっている。

【取組の課題】

認知症サポーターステップアップ講座を開催し、認知症サポーターの活躍の場を広げていく取組が必要です。

今後の方向性	☒ 現状のまま 継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
--------	---	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	---

【今後の対応】

今後も、市民や小中学校、民間企業向けの認知症サポーター養成講座、認知症に関する講演会を開催し、認知症に関する正しい知識と理解の促進を図ります。

また、認知症サポーターの活躍の場を広げることができるよう、認知症サポーターステップアップ講座を継続して行います。

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------

現行計画	基本目標	3	認知症にやさしいまちづくりのための取組	ページ	80
	施策の柱	(2)	認知症の早期発見・早期対応と介護者支援の充実		
	主な取組	①	認知症の早期発見・早期対応 ア) 認知症検診の実施と啓発		
	取組の方向性		認知症の早期発見・早期対応につなげるよう、医療機関における認知症検診を実施します。		

【取組の実施状況】

60歳と65歳以上の市民を対象とした認知症検診を草加八潮医師会に委託しました。令和6年度は1,440人が受診し、うち106人が精密検査を受けました。

●認知症検診結果(認知症検診検討委員会説明資料)

		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		
60歳	対象者数	818人		884人		948人		914人		
	受診者数(割合)	3人	0.2%	3人	0.3%	3人	0.3%	5人	0.5%	
	判定	判定1 問題なし	3人	100%	1人	33.3%	3人	100%	4人	80%
		判定2 要精密検査	0人	0.0%	2人	66.7%	0人	0.0%	1人	20%
		判定3 治療中	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%
65歳以上	対象者数	20,958人		20,970人		20,958人		20,921人		
	受診者数(割合)	1,499人	7.0%	1,393人	6.6%	1,460人	7.0%	1,435人	6.9%	
	判定	判定1 問題なし	1,180人	78.9%	1,128人	81.0%	1,164人	79.7%	1,129人	78.7%
		判定2 要精密検査	280人	18.4%	233人	16.7%	267人	18.3%	271人	18.9%
		判定3 治療中	39人	2.7%	32人	2.3%	29人	2.0%	35人	2.4%

※判定の割合は、受診者数に対する比率。

評価	☐ 順調	☒ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				認知症検診受診者数が伸びていないため。

【取組の課題】

認知症検診受診者数が伸びておらず、認知症検診に関する周知をする必要があります。

今後の方向性	☒ 現状のまま 継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
--------	---	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	---

【今後の対応】

認知症の早期発見、早期対応につなげるよう、認知症検診について市の広報紙やホームページ等による事業の周知に努めます。

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------

現 行 計 画	基本目標	3	認知症にやさしいまちづくりのための取組	ページ	80
	施策の柱	(2)	認知症の早期発見・早期対応と介護者支援の充実		
	主な取組	①	認知症の早期発見・早期対応 イ) 認知症初期集中支援チーム		
	取組の方向性		認知症の人やその家族に早期に関わる認知症初期集中支援チームを配置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制を強化します。		

【取組の実施状況】

認知症初期集中支援チームは、受託事業所が不在のため、休止しています。

認知症初期集中検討委員会を開催し、認知症と診断された高齢者が増加している現状や受診拒否のある方への支援の困難さ等について意見がありました。

評価	☐ 順調	☐ 概ね順調	☒ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				認知症初期集中検討委員会の開催により情報共有はできたが、初期集中支援チームが休止の状態となっているため。

【取組の課題】

現在休止状態となっている初期集中支援チームの再開に向けた検討を行う必要があります。

今後の方向性	☐ 現状のまま 継 続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☒ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
--------	---------------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--	---

【今後の対応】

認知症の早期診断・早期対応に向けた支援体制の見直しを行い、再構築を含めた検討を関係機関と行います。

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------

現 行 計 画	基本目標	3	認知症にやさしいまちづくりのための取組	ページ	80
	施策の柱	(2)	認知の早期発見・早期対応と介護者支援の充実		
	主な取組	①	認知症の早期発見・早期対応 ウ) 認知症地域支援推進員活動の充実		
	取組の方向性		認知症の人に対して効果的な支援が行われる体制の構築や、認知症ケアの向上を図るための取組を推進するため、認知症地域支援推進員を配置します。また、認知症地域支援推進員連絡会で取組等について協議するとともに、認知症初期集中支援チームとの連携や、認知症ケアパスの作成及び普及啓発を実施します。		

【取組の実施状況】

各地域包括支援センターと市に認知症地域支援推進員を計6名配置し、年6回連絡会を開催しました。連絡会では、認知症サポーター養成講座及び認知症サポーターステップアップ講座の実施、認知症地域支援推進員及び認知症サポーターによる啓発活動等について検討を行いました。啓発活動については、9月のアルツハイマー月間に合わせて市役所1階多目的スペースで認知症に関するパネル展示やミニ相談会の実施、市民イベント（八潮夜市・健康まつり）において、啓発品の配布を行いました。

評価	☒ 順調	☐ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				認知症地域支援推進員連絡会を実施し、認知症施策について検討・情報共有ができたため。

【取組の課題】

認知症サポーターの活躍の場など、地域における認知症ケア向上を図るための取組を検討する必要があります。

今後の方向性	☒ 現状のまま 継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
--------	---	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	---

【今後の対応】

認知症対応策の充実のため、認知症地域支援推進員連絡会を開催します。また、認知症ケアの向上を図るための取組として、先進自治体の例を参考に認知症サポーターの活躍の場について検討します。

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------

現行計画	基本目標	3	認知症にやさしいまちづくりのための取組	ページ	80
	施策の柱	(2)	認知症の早期発見・早期対応と介護者支援の充実		
	主な取組	②	認知症の人を介護する家族の支援 ア) オレンジカフェの充実		
	取組の方向性		認知症の人やその家族、地域住民、専門職等が参加できるオレンジカフェ（認知症カフェ）を市内4か所の地域包括支援センターに設置し、各々月1回実施します。 実施に当たっては、認知症地域支援推進員や認知症サポーター養成講座を受講したボランティアと連携して運営します。		

【取組の実施状況】

各地域包括支援センターでオレンジカフェを実施しました。

		東部包括	西部包括	南部包括	北部包括	合計
実施回数（回）		12	12	12	12	48
参加者 内訳	参 当事者	37	29	19	18	103
	加 介護家族	32	29	22	7	90
	者 専門職（介護支援専門員、サービス提供事業者等）	14	49	41	1	105
	内 地域住民	246	298	180	152	876
	訳 運営ボランティア	43	32	11	72	158
	その他	17	0	4	0	21
参加者合計（人）		389	437	277	250	1,353

評価	☒ 順調	☐ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				各地域包括支援センターで、実施内容やボランティアの活用について工夫して実施されているため。

【取組の課題】

オレンジカフェ（認知症カフェ）は、認知症の方やその家族、地域住民、専門職などが参加し、集いや交流、情報交換を行うことができる場ですが、今後はより本人及び家族の参加を増やしていくことが課題となっています。

今後の方向性	☒ 現状のまま 継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
--------	---	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	---

【今後の対応】

認知症地域支援推進員連絡会で、オレンジカフェ（認知症カフェ）の課題について精査し、効果的な運営等について検討します。

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------

現 行 計 画	基本目標	3	認知症にやさしいまちづくりのための取組	ページ	81
	施策の柱	(2)	認知症の早期発見・早期対応と介護者支援の充実		
	主な取組	②	認知症の人を介護する家族の支援　イ) 徘徊高齢者の家族支援		
	取組の方向性	GPS端末による位置探索システムや、二次元コードが印字された見守りシールを活用して、認知症により、行方の分からなくなった人を早期に発見することを支援し、家族の負担軽減を図ります。			

上段：目標値、下段：実績値

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
位置探索システム	25	30	35	15
利用料補助（件）	18	17	13	15
見守りシール配布数（件）	12	15	18	10
	3	4	4	10

【取組の実施状況】

位置探知システムの利用料の補助や二次元コード(QRコード)が印字された見守りシールの配布により、徘徊高齢者を早期に発見することを支援し、家族の負担軽減を図りました。

また、パンフレットの配布や市の広報紙、ホームページへ掲載することにより事業の普及啓発を行いました。

評価	■順調	□概ね順調	□遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				利用料補助やシール配布数が目標どおり達成できているため。

【取組の課題】

利用料補助やシール配布数が目標値に到達していますが、家族の負担軽減のため、さらに周知を行う必要があります。

今後の方向性	■現状のまま 継続	□休止・廃止	□終了・完了	□見直して継続	□他事業と統合 して継続
--------	--------------	--------	--------	---------	-----------------

【今後の対応】

今後も、年間を通してパンフレットの配布や市の広報紙、ホームページへの掲載、講演会等での事業の周知を行います。また、市役所多目的スペースでアルツハイマー月間に合わせたパネル展示や認知症に関する啓発、事業の案内を行います。

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------

現 行 計 画	基本目標	3	認知症にやさしいまちづくりのための取組	ページ	81
	施策の柱	(2)	認知症の早期発見・早期対応と介護者支援の充実		
	主な取組	②	認知症の人を介護する家族の支援　ウ) 徘徊高齢者早期発見ネットワーク		
	取組の方向性	認知症により、徘徊の症状が見られる人の行方が分からなくなった場合に、高齢者支援ネットワークに登録された協力事業者へ徘徊高齢者の情報を電子メールで送信し、早期発見・保護につなげます。			

上段：目標値、下段：実績値

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
協力事業者数（件）	190	200	210	200
	185	185	179	167

【取組の実施状況】

徘徊高齢者早期発見ネットワークに30人が事前登録しており、徘徊発生による協力機関への発見協力依頼のメール送信は0件でした。

また、協力事業者に対して、高齢者支援ネットワークの役割や認知症に関する取組を記載した「ネットワークだより」を年2回作成し送付しました。

評価	☒ 順調	☐ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				高齢者支援ネットワーク体制の充実に向けて、関係者へ情報提供を行うことができたため。

【取組の課題】

徘徊高齢者早期発見ネットワークに事前登録していない高齢者の行方が分からなくなることがあるため、住民への周知が十分でない可能性があります。

今後の方向性	☒ 現状のまま 継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
--------	---	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	---

【今後の対応】

徘徊の心配のある高齢者は今後も増加することが予想されるため、ネットワーク体制を活用して早期発見につなげることができるよう、協力事業所に対し、高齢者支援ネットワークだよりの送付等、情報提供を定期的に行い、連携強化に努めるとともに、民間企業等に対して協力事業所への登録を促します。

また、必要な方に事業を活用していただくために、市の広報紙やホームページ等への掲載による事業の周知に努めます。

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------

現 行 計 画	基本目標	3	認知症にやさしいまちづくりのための取組	ページ	81
	施策の柱	(2)	認知症の早期発見・早期対応と介護者支援の充実		
	主な取組	②	認知症の人を介護する家族の支援 エ) 認知症ケア相談室		
	取組の方向性	各地域包括支援センターに認知症ケア相談室を設置し、家族介護者等に認知症ケアに関する困りごとや介護技術の助言等を行います。			

【取組の実施状況】

令和5年4月1日に各地域包括支援センター内に認知症ケア相談室を開設しました。
家族介護者等に認知症ケアに関する困りごとや介護技術の助言等を行いました。

	東部包括	西部包括	南部包括	北部包括	合計
R5 年度 相談件数	51	22	37	101	211
R6 年度 相談件数	46	32	30	28	136

評価	☒ 順調	☐ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				家族介護者等の認知症ケアに関する相談に応じることができているため。

【取組の課題】

特にありません。

今後の方向性	☒ 現状のまま 継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
--------	---	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	---

【今後の対応】

高齢者人口の増加に伴い、認知症の相談も増加すると予測されることから、認知症ケアに関する相談窓口として周知を行います。

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------

現行計画	基本目標	3	認知症にやさしいまちづくりのための取組	ページ	82
	施策の柱	(3)	認知症バリアフリーの推進		
	主な取組	①	認知症バリアフリーの取組		
	取組の方向性	認知症サポーターステップアップ講座を受講した認知症サポーター等による支援チーム「チームオレンジ」を整備し、認知症の人やその家族のニーズに合った支援を進めます。			

【取組の実施状況】

チームオレンジの整備について、認知症地域支援推進員連絡会において情報提供を行い、活動内容等について検討を行いました。

チームオレンジの活動検証として、9月のアルツハイマー月間に市役所1階多目的スペースにて認知症に関するパネル展示やミニ相談会などの啓発活動を実施しました。また、市民イベント（八潮夜市、健康まつり）において、認知症ステップアップ講座受講者のボランティアと協働で啓発品の配布を行いました。

評価	☐ 順調	☒ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				「チームオレンジ」の整備について、地域包括支援センターと継続して情報共有ができているため。

【取組の課題】

チームオレンジの整備について、具体的な活動内容等について検討を行う必要があります。

今後の方向性	☒ 現状のまま 継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
--------	---	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	---

【今後の対応】

認知症に関する周知を行うとともに、担い手の発掘及びチームオレンジの活動について検討を行います。

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	高齢者政策係
-----	-------	-----	--------

現 行 計 画	基本目標	4	介護保険サービスの充実に向けた取組	ページ	94
	施策の柱	(1)	介護サービスの提供と基盤整備の推進		
	主な取組	③	地域密着型サービス ア) 地域密着型通所介護		
	取組の方向性	地域密着型通所介護の利用者数は、令和3年度から4年度にかけて増加しています。 現在、市内東部圏域に1か所（定員10人）、西部圏域に2か所（定員28人）、北部圏域に1か所（定員10人）の計4か所（定員48人）が整備されていますが、今後、新たに1か所（定員18人）の整備を計画しています。第9期計画期間中はこうした状況を踏まえ、必要なサービス量を見込みます。			

上段：目標値、下段：実績値

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
地域密着型通所介護	—	—	—	—	5
設置数（か所）	4	4	4	4	4

【取組の実施状況】

市内には、地域密着型通所介護が4か所整備されています。

令和6年度末の総利用者数は1,269人となっています。

評価	☐ 順調	☐ 概ね順調	☒ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				新規指定申請がなかったため。

【取組の課題】

地域密着型通所介護事業所に係る新規指定申請がありませんでした。

今後の方向性	☒ 現状のまま 継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
--------	---	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	---

【今後の対応】

今後のニーズに対応するため、第9期八潮市高齢者保健福祉推進計画・介護保険事業計画に1か所の整備を見込んでおり、新規指定申請があった場合は適切に対応します。

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	高齢者政策係
-----	-------	-----	--------

現 行 計 画	基本目標	4	介護保険サービスの充実に向けた取組	ページ	94
	施策の柱	(1)	介護サービスの提供と基盤整備の推進		
	主な取組	③	地域密着型サービス イ) 小規模多機能型居宅介護、介護予防小規模多機能型居宅介護		
	取組の方向性		小規模多機能型居宅介護の利用者数は、令和3年度から4年度にかけて減少、介護予防小規模多機能型居宅介護の利用者数は増加しています。 現在、市内東部圏域に1か所（登録定員29人）、南部圏域に1か所（登録定員29人）の計2か所（登録定員58人）が整備されていますが、今後、新たに2か所（登録定員58人）の整備を計画しています。第9期計画期間中はこうした状況を踏まえ、必要なサービス量を見込みます。		

上段：目標値、下段：実績値

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
小規模多機能型居宅介護設置数（か所）	2	3	4	4	3
	2	2	2	2	2

【取組の実施状況】

市内には、小規模多機能型居宅介護が2か所整備されています。

登録定員の合計は58人で、令和6年度末の登録者数は55人となっています。

評価	☐ 順調	☐ 概ね順調	☒ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				引き続き令和6年度に事業者を募集したが、応募がなかったため。
【取組の課題】 小規模多機能型居宅介護を整備する事業者を募集しましたが、応募がありませんでした。				

今後の方向性	☒ 現状のまま 継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
【今後の対応】 今後のニーズに対応するため、第9期八潮市高齢者保健福祉推進計画・介護保険事業計画においても2か所の整備を見込んでおり、引き続き事業者を募集します。					

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	高齢者政策係
-----	-------	-----	--------

現行計画

基本目標	4	介護保険サービスの充実に向けた取組	ページ	96																																																																																																																																																																																																														
施策の柱	(1)	介護保険事業の円滑な実施と基盤整備の推進																																																																																																																																																																																																																
主な取組	④	基盤整備の推進																																																																																																																																																																																																																
取組の方向性	現在、市内には介護老人福祉施設（3施設）、介護老人保健施設（1施設）があり、いずれも稼働率が高い状況で推移しており、介護老人福祉施設については待機者が発生しています。国では、介護サービスが利用できないためにやむを得ず家族介護者が離職することをなくすとともに、介護老人福祉施設への入所が必要であるにもかかわらず、自宅での待機を余儀なくされるケースをなくすという、「介護離職ゼロ」を目標としています。 このことを踏まえ、本市では、既存の体制を前提としつつ、必要に応じて認知症対応型共同生活介護（グループホーム）や小規模多機能型居宅介護等の地域密着型サービス、居宅サービスの組み合わせによる支援も含めて対応します。日常生活圏域別介護施設等整備状況及び第9期計画における整備計画は、以下のとおりです。 ア）日常生活圏域別介護施設等整備状況 ■ 日常生活圏域別 介護施設等施設数 （令和5年10月1日現在） <table><tr><th rowspan="2"></th><th colspan="2">東部圏域</th><th colspan="2">西部圏域</th><th colspan="2">南部圏域</th><th colspan="2">北部圏域</th><th colspan="2">合計</th></tr><tr><th>施設数</th><th>定員</th><th>施設数</th><th>定員</th><th>施設数</th><th>定員</th><th>施設数</th><th>定員</th><th>施設数</th><th>定員</th></tr><tr><td>介護老人福祉施設</td><td>1</td><td>80</td><td></td><td></td><td>1</td><td>120</td><td>1</td><td>100</td><td>3</td><td>300</td></tr><tr><td>介護老人保健施設</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td>150</td><td>1</td><td>150</td></tr><tr><td>軽費老人ホーム</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td>50</td><td>1</td><td>50</td></tr><tr><td>介護付き有料老人ホーム</td><td>3</td><td>189</td><td></td><td></td><td>3</td><td>178</td><td>1</td><td>39</td><td>7</td><td>406</td></tr><tr><td>サービス付き高齢者向け住宅</td><td></td><td></td><td>1</td><td>50</td><td>1</td><td>27</td><td></td><td></td><td>2</td><td>77</td></tr><tr><td>合計</td><td>4</td><td>269</td><td>1</td><td>50</td><td>5</td><td>325</td><td>4</td><td>339</td><td>14</td><td>983</td></tr></table> ※上記のほか、令和5年11月に有料老人ホーム（住宅型）が1か所、令和6年4月に介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）が1か所開所予定 ■ 日常生活圏域別 地域密着型サービス事業所数 （令和5年10月1日現在） <table><tr><th rowspan="2"></th><th colspan="2">東部圏域</th><th colspan="2">西部圏域</th><th colspan="2">南部圏域</th><th colspan="2">北部圏域</th><th colspan="2">合計</th></tr><tr><th>施設数</th><th>定員</th><th>施設数</th><th>定員</th><th>施設数</th><th>定員</th><th>施設数</th><th>定員</th><th>施設数</th><th>定員</th></tr><tr><td>地域密着型通所介護</td><td>1</td><td>10</td><td>2</td><td>28</td><td></td><td></td><td>1</td><td>10</td><td>4</td><td>48</td></tr><tr><td>小規模多機能型居宅介護</td><td>1</td><td>29</td><td></td><td></td><td>1</td><td>29</td><td></td><td></td><td>2</td><td>58</td></tr><tr><td>認知症対応型共同生活介護</td><td>1</td><td>18</td><td>2</td><td>36</td><td>1</td><td>18</td><td>1</td><td>27</td><td>5</td><td>99</td></tr><tr><td>合計</td><td>3</td><td>57</td><td>4</td><td>64</td><td>2</td><td>47</td><td>2</td><td>37</td><td>11</td><td>205</td></tr></table> イ）第9期計画における整備計画 ■ 第9期計画における整備計画 <table><tr><th rowspan="2"></th><th colspan="2">整備実績</th><th colspan="2">令和6年度</th><th colspan="2">令和7年度</th><th colspan="2">令和8年度</th><th colspan="2">累計</th></tr><tr><th>整備数</th><th>定員</th><th>整備数</th><th>定員</th><th>整備数</th><th>定員</th><th>整備数</th><th>定員</th><th>整備数</th><th>定員</th></tr><tr><td>地域密着型通所介護</td><td>4</td><td>48</td><td></td><td></td><td>1</td><td>18</td><td></td><td></td><td>5</td><td>66</td></tr><tr><td>小規模多機能型居宅介護</td><td>2</td><td>58</td><td></td><td></td><td>1</td><td>29</td><td>1</td><td>29</td><td>4</td><td>116</td></tr><tr><td>合計</td><td>6</td><td>106</td><td></td><td></td><td>2</td><td>47</td><td>1</td><td>29</td><td>9</td><td>182</td></tr></table>					東部圏域		西部圏域		南部圏域		北部圏域		合計		施設数	定員	施設数	定員	施設数	定員	施設数	定員	施設数	定員	介護老人福祉施設	1	80			1	120	1	100	3	300	介護老人保健施設							1	150	1	150	軽費老人ホーム							1	50	1	50	介護付き有料老人ホーム	3	189			3	178	1	39	7	406	サービス付き高齢者向け住宅			1	50	1	27			2	77	合計	4	269	1	50	5	325	4	339	14	983		東部圏域		西部圏域		南部圏域		北部圏域		合計		施設数	定員	施設数	定員	施設数	定員	施設数	定員	施設数	定員	地域密着型通所介護	1	10	2	28			1	10	4	48	小規模多機能型居宅介護	1	29			1	29			2	58	認知症対応型共同生活介護	1	18	2	36	1	18	1	27	5	99	合計	3	57	4	64	2	47	2	37	11	205		整備実績		令和6年度		令和7年度		令和8年度		累計		整備数	定員	整備数	定員	整備数	定員	整備数	定員	整備数	定員	地域密着型通所介護	4	48			1	18			5	66	小規模多機能型居宅介護	2	58			1	29	1	29	4	116	合計	6	106			2	47	1	29	9	182
		東部圏域		西部圏域		南部圏域		北部圏域		合計																																																																																																																																																																																																								
		施設数	定員	施設数	定員	施設数	定員	施設数	定員	施設数	定員																																																																																																																																																																																																							
	介護老人福祉施設	1	80			1	120	1	100	3	300																																																																																																																																																																																																							
	介護老人保健施設							1	150	1	150																																																																																																																																																																																																							
	軽費老人ホーム							1	50	1	50																																																																																																																																																																																																							
	介護付き有料老人ホーム	3	189			3	178	1	39	7	406																																																																																																																																																																																																							
	サービス付き高齢者向け住宅			1	50	1	27			2	77																																																																																																																																																																																																							
	合計	4	269	1	50	5	325	4	339	14	983																																																																																																																																																																																																							
		東部圏域		西部圏域		南部圏域		北部圏域		合計																																																																																																																																																																																																								
施設数		定員	施設数	定員	施設数	定員	施設数	定員	施設数	定員																																																																																																																																																																																																								
地域密着型通所介護	1	10	2	28			1	10	4	48																																																																																																																																																																																																								
小規模多機能型居宅介護	1	29			1	29			2	58																																																																																																																																																																																																								
認知症対応型共同生活介護	1	18	2	36	1	18	1	27	5	99																																																																																																																																																																																																								
合計	3	57	4	64	2	47	2	37	11	205																																																																																																																																																																																																								
	整備実績		令和6年度		令和7年度		令和8年度		累計																																																																																																																																																																																																									
	整備数	定員	整備数	定員	整備数	定員	整備数	定員	整備数	定員																																																																																																																																																																																																								
地域密着型通所介護	4	48			1	18			5	66																																																																																																																																																																																																								
小規模多機能型居宅介護	2	58			1	29	1	29	4	116																																																																																																																																																																																																								
合計	6	106			2	47	1	29	9	182																																																																																																																																																																																																								

【取組の実施状況】

市内には、地域密着型通所介護が4か所整備されています。利用定員の合計は48人で、令和6年度末の総利用者数は1,269人となっています。

市内には、小規模多機能型居宅介護が2か所整備されています。登録定員の合計は58人で、令和6年度末の登録者数は55人となっています。

評価	☐ 順調	☐ 概ね順調	☒ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				地域密着型通所介護及び小規模多機能型居宅介護の整備について、令和6年度に新規指定申請がなかったため。

【取組の課題】

それぞれ新規指定申請がありませんでした。

今後の方向性	☒ 現状のまま 継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
【今後の対応】 第9期八潮市高齢者保健福祉推進計画・介護保険事業計画における整備計画に基づき、整備を推進します。					

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	高齢者政策係、地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	------------------

現 行 計 画	基本目標	4	介護保険サービスの充実に向けた取組	ページ	98
	施策の柱	(2)	介護保険事業の円滑な実施のための取組の推進		
	主な取組	①	情報提供体制の充実		
	取組の方向性	要介護認定の申請手続き、介護保険サービス、介護予防・生活支援サービス、高齢者在宅福祉サービス等に関する情報について、広報やしお、市ホームページ、パンフレット等を通じて、分かりやすい情報提供に努めるとともに、高齢者の相談窓口である各地域包括支援センターや関係機関と連携が図れる体制を確保します。 さらに、市の施策や介護保険法の改正等の情報提供を行うため、「介護保険に関する市内事業者等説明会」「地域密着型サービス事業所連絡会議」「居宅介護支援事業者連絡会議」をそれぞれ開催し、市内介護サービス事業者等との連携を図ります。 また、国では介護分野の文書に係る負担軽減の取組の一環として、介護サービス事業者等からの申請書類の届出について、オンラインによる「電子申請・届出システム」の使用を基本原則化し、令和7年度までに全ての地方公共団体で利用開始することとしています。このことを踏まえ、本市においても「電子申請・届出システム」の運用について整備することで、介護サービス事業者等の負担軽減を図ります。			

【取組の実施状況】

高齢者在宅福祉サービスや介護保険サービスに関する情報を、市の広報誌やホームページに掲載しました。

高齢者在宅福祉サービスや介護保険のパンフレット、介護保険事業所を掲載したガイドブックを改訂し、窓口での相談に使用しました。また、市内4か所の地域包括支援センターや駅前出張所、社会福祉協議会に配架したほか、介護保険に関する市内事業者等説明会で配布しました。

令和6年10月から電子申請・届出システムを導入し、介護サービス事業者等に電子メールや市内事業者等説明会で周知しました。

評価	■順調	□概ね順調	□遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				窓口での相談や出前講座、地域包括支援センターが訪問した際にパンフレット等を配布したほか、介護保険に関する市内事業者等説明会で配布し、幅広く情報提供を行ったため。

【取組の課題】

特にありません。

今後の方向性	■現状のまま 継続	□休止・廃止	□終了・完了	□見直して継続	□他事業と統合 して継続
--------	--------------	--------	--------	---------	-----------------

【今後の対応】

今後も、市の広報誌やホームページ、説明会等で情報提供を行うとともに、更に活用しやすいパンフレットやガイドブックとなるよう見直します。

介護保険について情報が必要な方に、速やかに情報提供する方法について更なる検討が必要です。

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	高齢者政策係
-----	-------	-----	--------

現 行 計 画	基本目標	4	介護保険サービスの充実に向けた取組	ページ	98
	施策の柱	(2)	介護保険事業の円滑な実施のための取組の推進		
	主な取組	②	介護サービス相談員の派遣		
	取組の方向性		介護サービス相談員は、介護施設や居宅介護サービス事業者等を訪問し、利用者等の話を聞き相談に応じることで、利用者が日頃抱えている疑問や不安の解消を図るとともに、派遣を受けた事業者等による介護サービスの実態を把握し、フィードバックすることで、サービスの質の向上を図ります。		

【取組の実施状況】

令和6年度は、介護保険施設や通所介護事業所など市内41か所の事業所に、延べ289回訪問しました。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により面会を中止しているため、訪問できない事業所がありました。

派遣時においては、利用者から「気軽に職員に話しかけられない」、「自宅に戻りたい」などの相談があり、介護サービス相談員が傾聴し、その内容を事業所の職員へ伝えました。事業所で改善できるところは改善してもらい、利用者と事業所の橋渡しをすることで、サービスの質的向上を図りました。

市内44か所のうち41か所の事業所で介護サービス相談員の受入れが承諾されています。

評価	☒ 順調	☐ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				市内ほぼすべての事業所に受入れが承諾されており、各事業所おおむね月に1回のサイクルで相談業務を実施することができているため。

【取組の課題】

新規事業所や新型コロナウイルス感染症の影響により訪問再開ができていない事業所があること。

今後の方向性	☒ 現状のまま 継 続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
--------	--	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	---

【今後の対応】

引き続き介護保険施設や居宅介護サービス事業者等に派遣を行うことで、介護サービスの実態を把握し、サービスの質の向上を図ります。

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------

現行計画	基本目標	4	介護保険サービスの充実に向けた取組	ページ	98
	施策の展開	(2)	介護保険事業の円滑な実施のための取組の推進		
	主な取組	③	家族介護者の支援と介護離職防止の促進		
	取組の方向性		家族を介護するために離職しなければならないことが社会問題となっているため、国が目指す「介護離職ゼロ」の実現、介護離職防止に向けた取組の啓発を促進します。 また、ケアラーが個人として尊重され健康で文化的な生活を営むことができるよう、「埼玉県ケアラー支援条例」に基づき、ケアラーを社会全体で支えていくため、地域包括支援センターに配置した家族介護者支援員を中心とした支援体制を整備します。 さらに、高齢者を介護している人や、介護に関心のある人等を対象に、家族介護教室を実施します。		

【取組の実施状況】

各地域包括支援センターの主任介護支援専門員を中心に家族介護教室を企画し、仕事と介護を両立するために利用できる制度の案内や、介護専門職によるおむつ介助等の技術講習、認知症看護認定看護師による認知症に関する介護の講話等を行ないました。

参加者からは、「介護の仕方のコツが分かり、実際にやらせていただき良かった。」「介護休業制度を利用しながら上手に在宅介護をしていく方法がよく分かった。」「認知症の人との会話の仕方、体験談は参考になった。」という声がありました。

日程	担当包括	会場	参加人数
8月31日	東部地域包括支援センター やしお苑	八潮市役所多目的室	17人
10月19日	西部地域包括支援センター ケアセンター八潮	楽習館多目的ホール	16人
12月14日	南部地域包括支援センター 埼玉回生病院	八潮市役所多目的室	14人
(中止) 2月15日	北部地域包括支援センター やしお寿苑	八潮市役所多目的室	道路陥没事故の影響で中止
開催合計		4回	47人

評価	☐ 順調	☒ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				予定どおり教室を実施することができた。介護の実技講習等が充実して行えたため。

【取組の課題】

家族介護教室の開催により、仕事と介護を両立するための制度等について情報を求めている方に必要な情報を提供できましたが、参加者を増やす取組が必要です。

今後の方向性	☒ 現状のまま 継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合して継続
--------	---	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	-------------------------------------

【今後の対応】

仕事と介護の両立やこれからの介護に不安を感じている方により多く参加いただけるよう、教室の周知方法について検討します。

今後、家族を介護する労働者だけではなく、雇用主にも介護離職防止に向けた取組の啓発と周知ができるよう、関係機関と検討します。

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	介護支援係
-----	-------	-----	-------

現 行 計 画	基本目標	4	介護保険サービスの充実に向けた取組	ページ	99
	施策の柱	(2)	介護保険事業の円滑な実施のための取組の推進		
	主な取組	④	介護給付等の適正化　ア) 要介護認定の適正化		
	取組の方向性	認定調査結果の点検や認定審査会の合議体（４合議体）間の格差是正の取組を通じて、公平かつ適切な要介護認定に努めます。 また、市の要介護認定調査員の確保に努め、質の向上のための研修を実施します。			

【取組の実施状況】

要介護・要支援認定調査が柔軟に対応できるよう、全調査のうち90.2%を市の要介護認定調査員が調査を行いました。

また、公平かつ適切な要介護認定に努めるため、市の要介護認定調査員の研修を実施し、認定審査会委員向けの研修を案内し、共通認識の確認をしました。

評価	☒ 順調	☐ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				不服申し立てがなく、公平かつ適切な要介護認定の確保が図れているため。

【取組の課題】

安定した要介護認定調査員の確保に向けた対策を検討する必要があります。

今後の方向性	☒ 現状のまま 継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
--------	---	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	---

【今後の対応】

今後も要介護認定の適正化として、本市の要介護認定調査員の確保に努め、かつ質の向上のための研修を行います。

また、認定調査結果の点検や認定審査会の合議体間の格差是正の取組を通じ、公平かつ適切な要介護認定の確保を図ります。

さらに、安定した要介護認定業務が実施できるよう、要介護認定調査員の確保に向けた対策を検討します。

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	介護給付係
-----	-------	-----	-------

現 行 計 画	基本目標	4	介護保険サービスの充実に向けた取組	ページ	99
	施策の柱	(2)	介護保険事業の円滑な実施のための取組の推進		
	主な取組	④	介護給付等の適正化　イ) ケアマネジメントの適正化		
	取組の方向性		a　利用者の自立支援に資するケアプランの作成に向けて、市内の居宅介護支援事業所を対象に、ケアプランの点検及び支援を行うとともに、自立支援型地域ケア会議を活用することにより、個々の利用者が真に必要なとするサービスの確保を図ります。 b　住宅改修について、申請書類による書面審査を実施するとともに、施工前後において疑義が生じた場合は、関係者へのヒアリング等により利用者の状態や施工状況を確認することで、利用者の自立支援に資するよう実施します。 c　福祉用具の利用について、自立支援型地域ケア会議を活用し、利用者の身体状況に応じた適切な貸与等を実施します。		

【取組の実施状況】

- a 市内居宅介護支援事業所事業所5か所に対し計14件、地域密着型サービスである市内認知症対応型共同生活介護事業所2か所に対し計3件、合計17件のケアプラン提出を依頼し、それぞれ利用者の自立支援に資するケアプランが作成されていることを確認しました。
- b 住宅改修の点検については、効果の疑義があった手すり取付け工事に対し、令和6年8月に実地調査を1件実施し、改修工事が利用者の在宅生活に必要なであることを確認しました。
- c 福祉用具の利用については、軽度者への（特定）福祉用具の貸与や購入についてケアプラン等を全件点検し、適正にケアプランが作成されていることを確認しました。

評価	■順調	□概ね順調	□遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				各事業所のケアプランを確認することで介護給付等の適正化に資することができたため。

【取組の課題】

ケアプラン点検により、個々の受給者が真に必要なとする過不足のないサービス提供の確保が図れるよう努めているところですが、担当職員の経験や感覚に頼る部分が大きく、また、点検できるプラン数にも限りがあることから、効果的かつ効果的な手法が求められています。

また、住宅改修の点検については、申請書類に疑義がないケースが大半であるため、対象者の抽出方法が課題となっています。

今後の方向性	■現状のまま 継続	□休止・廃止	□終了・完了	□見直して継続	□他事業と統合 して継続
--------	--------------	--------	--------	---------	-----------------

【今後の対応】

国・県主催の研修の受講や国が作成しているケアプラン点検に係るマニュアルを活用し、ケアプラン点検がケアマネジメントの質の向上につながるよう努めます。

住宅改修については、現地確認が必要なケースや調査を行う方法等について検討を行います。

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	介護給付係
-----	-------	-----	-------

現 行 計 画	基本目標	4	介護保険サービスの充実に向けた取組	ページ	99
	施策の柱	(2)	介護保険事業の円滑な実施のための取組の推進		
	主な取組	④	介護給付等の適正化　ウ) 縦覧点検・医療情報との突合による適正化		
	取組の方向性	国民健康保険団体連合会の「介護給付適正化システム」を有効活用して、提供されたサービスの整合性等の点検を継続的に行い、請求内容の誤りや医療と介護の重複請求の是正に取り組みます。			

【取組の実施状況】

介護報酬請求に係る縦覧点検について、国民健康保険団体連合会へ委託し、請求誤りの可能性がある事業所について随時ケアプランを点検し、誤りがあるものについては、事業所へ過誤依頼を行うことで給付の適正を確認しました。

また、国保年金課保険給付係と連携し、介護報酬請求を被保険者の医療情報と突合することで、医療と介護の重複請求の確認をしました。

評価	☒ 順調	☐ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				提供されたサービスの整合性等の点検を継続的に行い、請求内容の誤りや医療と介護の重複請求の是正ができたため。

【取組の課題】

更なる給付の適正化のため、今後、国民健康保健連合会の適正化システムによる縦覧点検・医療情報との突合以外での活用が課題となっています。

今後の方向性	☒ 現状のまま 継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合して継続
--------	---	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	-------------------------------------

【今後の対応】

国民健康保健団体連合会の適正化システムから出力される給付実績に基づく帳票を活用して、更なる適正化に取り組めます。

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	介護支援係
-----	-------	-----	-------

現 行 計 画	基本目標	4	介護保険サービスの充実に向けた取組	ページ	100
	施策の柱	(2)	介護保険事業の円滑な実施のための取組の推進		
	主な取組	⑤	介護認定審査会の効率化		
	取組の方向性	介護認定審査会における紙の消費量と資料準備等の作業時間の削減、一層の情報セキュリティ向上の観点から、ICT を活用して審査会資料のペーパーレス化を行い、業務の効率化を図ります。資料のペーパーレス化に際しては、クラウドシステムの導入を検討します。 さらに、介護認定審査会のオンライン開催を検討します。			

【取組の実施状況】

令和7年度中に審査会資料のペーパーレス化が行えるよう、クラウドシステムの導入の準備を進めています。

評価	☐ 順調	☒ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				システム導入に向け、準備を進めているため。

【取組の課題】

令和8年10月より介護保険システムの標準化が導入され、介護保険システムが変更するため、新たなシステムでもクラウドシステムが円滑に進められるか確認する必要があります。

今後の方向性	☒ 現状のまま 継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
--------	---	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	---

【今後の対応】

導入にあたり、円滑に審査会が運営できるよう、審査会委員へ操作研修や操作方法についての支援を行います。

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	介護給付係
-----	-------	-----	-------

現行計画	基本目標	4	介護保険サービスの充実に向けた取組	ページ	100
	施策の柱	(2)	介護保険事業の円滑な実施に向けた取組の推進		
	主な取組	⑥	介護保険サービス利用者負担補助事業		
	取組の方向性	要介護等認定者又は事業対象者で、市民税世帯非課税者に対して、居宅サービス等を利用した場合の自己負担額の一部を補助することにより、経済的負担の軽減を図ります。			

【取組の実施状況】

要介護等認定を受けている低所得者の被保険者に対して、市独自の制度である八潮市介護保険サービス利用者負担補助制度を利用することで、自己負担額の一部を補助することにより経済的な負担軽減を図るもので、令和6年度は延べ 4,149 人に対し 15,228,381 円支給しました。

評価	☒ 順調	☐ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				居宅介護サービス等を利用している低所得者に対し、自己負担額への負担軽減が図れたため。

【取組の課題】

介護保険サービス利用者負担補助金は、利用者が増加した場合、比例して補助額も増加する可能性があるため、補助金の持続可能性について財政面で課題があります。

今後の方向性	☒ 現状のまま 継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
--------	---	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	---

【今後の対応】

介護保険サービス利用者負担補助金は、要介護または要支援の認定を受けている低所得の被保険者に対し、居宅サービス、介護予防サービス、地域密着型サービス、地域密着型介護予防サービスに要した費用の一部を補助することにより、経済的負担の軽減を図っています。今後も当該事業の需要を鑑みながら確実に実施します。

また、社会福祉法人等利用者負担軽減補助金については今後も制度の周知を図ります。

【財 源】一般会計（市が全額負担）

【対象者】(1)八潮市の被保険者であること (2) 市民税世帯非課税者であること (3)生活保護受給者でないこと
(4)介護保険料を滞納していないこと

【補助率】自己負担額の 1/5（市民税世帯非課税者の自己負担限度額：24,600 円）

【対象となるサービス（介護予防サービス含む）】

訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、居宅療養管理指導、通所介護、通所リハビリテーション、福祉用具貸与、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、地域密着型通所介護、認知症対応型共同生活介護、介護予防・生活支援サービス

第 9 期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	高齢者政策係
-----	-------	-----	--------

現 行 計 画	基本目標	4	介護保険サービスの充実に向けた取組	ページ	100
	施策の柱	(2)	介護保険事業の円滑な実施と基盤整備の推進		
	主な取組	⑦	感染症対策と災害時対応		
	取組の方向性	市内介護サービス事業者等へ感染症対策や災害時の対応等について、国や埼玉県からの情報を速やかに提供するとともに、国が作成した「介護現場における感染対策の手引き」「介護職員のための感染対策マニュアル」「要配慮者利用施設に係る避難確保計画作成の手引き」等を遵守するよう指導します。 また、感染症や災害発生時における業務継続計画（BCP）の策定が介護施設・事業所の義務となることから、国が作成したガイドライン資料等を提供し、策定について支援します。			

【取組の実施状況】

市内介護サービス事業者等へ国や県からの情報を周知し、新型コロナウイルス感染症や災害時の対応等について情報提供しました。また、新型コロナウイルス感染症の 5 類感染症移行に伴い、厚生労働省が定めるマニュアルに該当する場合のみ報告を求める旨、通知をしました。

評価	■ 順調	□ 概ね順調	□ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				事業者等に対し、適宜必要な情報を周知することができたため。

【取組の課題】

特にありません。

今後の方向性	■ 現状のまま 継続	□ 休止・廃止	□ 終了・完了	□ 見直して継続	□ 他事業と統合 して継続
--------	---------------	---------	---------	----------	------------------

【今後の対応】

今後も、事業者に対し、必要な情報について速やかな周知に努めます。また、引き続き、感染症対策や災害時の対応について、マニュアルを遵守するように周知します。

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------

現行計画	基本目標	5	住み慣れたところで最期まで暮らし続けられるための取組	ページ	101
	施策の柱	(1)	在宅医療・介護の連携		
	主な取組	①	在宅医療・介護連携事業 ア) 現状分析・課題抽出と施策立案		
	取組の方向性		a 地域の医療・介護資源の把握 地域の医療機関、介護サービス事業者等の機能等の把握及びリスト化をし、医療・介護関係者との情報の共有に努めます。 b 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討 地域の医療・介護関係者等が参画する「在宅医療・介護連携推進会議」を開催し、在宅医療・介護連携の現状の把握と課題の抽出、在宅介護・看護、医療の体制の整備について検討します。 c 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進 地域の医療・介護関係者の協力を得ながら、在宅医療と在宅介護が切れ目なく一体的に提供される体制の構築・強化に向けて検討します。		

【取組の実施状況】

草加八潮医師会 在宅医療サポートセンターに業務委託し、草加市や在宅医療サポートセンターと打ち合わせを重ねて事業を実施しました。

- a 医療機関等へ照会し、「事業者向け在宅医療・介護資源リスト」の更新を行いました。
- b 医師、歯科医師、薬剤師、介護サービス事業者連絡会、訪問看護ステーション、介護支援専門員連絡会、保健所、地域包括支援センター、病院の医療連携室、在宅医療サポートセンターを構成員として、在宅医療・介護連携推進会議を年3回開催し、在宅医療・介護支援の課題や情報共有ツール作成についての検討を行いました。
- c 在宅医療サポートセンターが中心となり、在宅医療と在宅介護が切れ目なく一体的に提供される体制の構築に向けて、入退院支援ルールの作成を行いました。また、新規・既存の在宅診療医を訪問し、現状や課題についてのヒアリングを実施しました。

評価	☒ 順調	☐ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				在宅医療サポートセンターや草加市と打合せを重ね、各事業を計画的に行うことができたため。

【取組の課題】

地域の医療・介護関係者等が参画する在宅医療・介護連携推進会議を継続して開催することで、医療・介護関係者の連携が徐々に進んできてはいますが、課題の抽出や対応策の検討を引き続き行う必要があります。

今後の方向性	☒ 現状のまま継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合して継続
--------	---	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	-------------------------------------

【今後の対応】

- a 「事業所向け在宅医療・介護資源リスト」の改定を行い、活用しやすいものとなるよう努めます。
- b 引き続き、在宅医療・介護連携における現状や課題について、多職種で情報共有し課題に向けた検討を進めるため、在宅医療・介護連携推進会議を年3回開催します。
- c 継続して、在宅診療医の訪問や入退院支援ルールの見直しを行います。

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------

現 行 計 画	基本目標	5	住み慣れたところで最期まで暮らし続けられるための取組	ページ	102
	施策の柱	(1)	在宅医療・介護の連携		
	主な取組	①	在宅医療・介護連携事業 イ) 対応策の実施		
	取組の方向性		a 在宅医療・介護連携に関する相談支援 草加八潮医師会に設置された「在宅医療サポートセンター」を、在宅医療・介護連携を支援する相談窓口とし、医療・介護関係者、一般市民・家族からの相談対応や在宅医療が必要な人への適切な支援、地域包括支援センターとの連携等を図ります。 b 地域住民への普及啓発 在宅で療養が必要となった時、必要なサービスを適切に選択できるよう、在宅医療や介護に関する講演会の開催、パンフレットの作成・配布等により、普及啓発に努めます。 c 医療・介護関係者の情報共有の支援 地域の医療・介護関係者の情報共有を支援するため、ICTの活用や、入退院支援ルールを周知するなど、情報共有ツールの整備を進めます。 d 医療・介護関係者の研修 地域の医療・介護関係者の連携を図るため、多職種によるグループワークや事例検討の研修を実施します。また、地域の医療関係者に介護に関する研修、介護関係者に医療に関する研修を実施し、相互の理解を図ります。		

【取り組みの実施状況】

草加八潮医師会 在宅医療サポートセンターに業務委託し、草加市や在宅医療サポートセンターと打ち合わせを重ねて事業を実施しました。

- a 在宅医療サポートセンターを相談窓口として、本人・家族、医療・介護関係者等からの相談に対応し、相談件数は54件でした。
- b 12月11日に市民に対して、講演会「自分の人生を豊かにするために～あなたの声を届けるための人生会議～」を黒田総合内科診療所の黒田 仁先生を講師に開催し、55人が参加しました。
- c 在宅医療サポートセンターがICTを活用した情報共有ツールである、MCS（メディカルケアステーション）活用の相談窓口となり、相談対応や登録作業、研修会による啓発活動を行い、登録者は115名でした。
また、草加・八潮医師会単位での入退院支援ルールの作成に関する検討を行いました。
- d 10月18日に地域の医療・介護関係者に対して、多職種研修会「もしもの災害に備えて」をぬまたとね医療・介護連携相談室の岡島 真実氏を講師に開催し、28人が参加しました。

評価	☒ 順調	☐ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				在宅医療サポートセンターや草加市と打合せを重ね、各事業を計画的に行うことができたため。

【取り組みの課題】

在宅医療と介護に関して、在宅医療サポートセンターが相談窓口であることを十分に周知できていないことや、医療職と介護職の相互理解をより深められるような事業内容について検討が必要です。

今後の方向性	■現状のまま 継 続	□休止・廃止	□終了・完了	□見直して継続	□他事業と統合 して継続
【今後の対応】 a 在宅医療サポートセンターを相談窓口として、本人・家族、医療・介護関係者等からの相談対応や、在宅医療が必要な方に対して適切な支援を行えるよう周知します。 b 市民向け講演会の検討や、在宅医療・介護サービスに関する普及啓発を行います。 c ICT(MCS メディカルケアステーション)の登録者の増加や活用のため、在宅医療サポートセンターによる普及啓発や研修会等を実施します。また、草加・八潮医師会単位での入退院支援ルールを作成し、活用に向けた説明会等を実施します。 d 医療・介護関係者向けの多職種研修会に、より多くの職種が参加できるよう、在宅医療サポートセンターと検討し実施します。					

第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	高齢者政策係、地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	------------------

現行計画	基本目標	5	住み慣れたところで最期まで暮らし続けられるための取組	ページ	102
	施策の展開	(1)	在宅医療・介護の連携		
	主な取組	②	看取りに向けた支援		
	取組の方向性	地域住民が在宅介護、ターミナルケアのあり方、在宅での看取りについて理解することは、適切で継続的な医療を提供するためにも重要であることから、講演会の開催やパンフレットの作成・配布等の普及啓発に努めます。 また、高齢者が終末期にどのような意向を持っているのか、家族で話し合うきっかけとして、「私と家族の安心ノート（エンディングノート）」を配付し、積極的な活用を促します。 介護施設等では、本人や家族の意向を汲みながら終末期に寄り添える介護職員の育成が課題となっています。そのため、市では市内介護施設等に対し、研修会への参加を促すとともに、看取り体制を一層強化する取組について支援します。			

上段：目標値、下段：実績値

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
私と家族の安心ノート（エンディングノート）窓口配布数（冊）	—	—	80	90
	81	77	56	100

【取組の実施状況】

市民向けの啓発として、12月11日に講演会「自分の人生を豊かにするために～あなたの声を届けるための人生会議～」を黒田総合内科診療所の黒田 仁先生を講師に開催し、55人が参加しました。また、私と家族の安心ノート（エンディングノート）を100人に配布し、平成30年度から累計で619人に配布しています。

市内には、介護老人福祉施設が4か所、介護老人保健施設が1か所、介護付き有料老人ホームが7か所、グループホームが5か所、軽費老人ホームが1か所、サービス付き高齢者向け住宅が2か所の合計20か所が整備されており、看取り実施施設は、令和6年度末日時点で17か所です。看取りを実施したことのない施設はありませんが、嘱託医が施設の急な呼び出しに応じることが困難であることや施設の職員数に余裕がなく、看取りを行える状況にないことにより、過去に看取りを実施していた施設で看取りができなくなっています。令和6年度末日時点で看取りができなくなった施設は、シルバータウンやしお、おおぜの郷及びグループホームぽっかぽかの3か所です。

令和6年4月から令和7年3月末日までに、施設で看取りを行った人数は、介護老人福祉施設41人、介護老人保健施設13人、介護付き有料老人ホーム38人、グループホーム8人、サービス付き高齢者向け住宅24人の合計124人です。

評価	☐ 順調	☒ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				嘱託医や職員体制の状況により、看取りができなくなった施設があるため。

【取組の課題】

看取りに対して不安を抱いている看取り未経験の介護職員に対して研修等を実施し、市内全施設で看取り実施体制を整えることが課題です。

今後の方向性	☒ 現状のまま 継 続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
【今後の対応】 介護保険施設等職員の看取りケアの体制強化のため、引き続き埼玉県で実施している看取り研修の案内等、情報提供します。 今後も「私と家族の安心ノート（エンディングノート）」について、多くの方に利用していただけるよう、市広報紙やホームページ、講演会等で周知します。また、「私と家族の安心ノート（エンディングノート）」の利用者に対し、終末期に関する市民向け講演会の案内と併せてノートの内容見直しを促す通知を送付します。					